

図-6.9.99(1) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第1層 (0~2.0m)

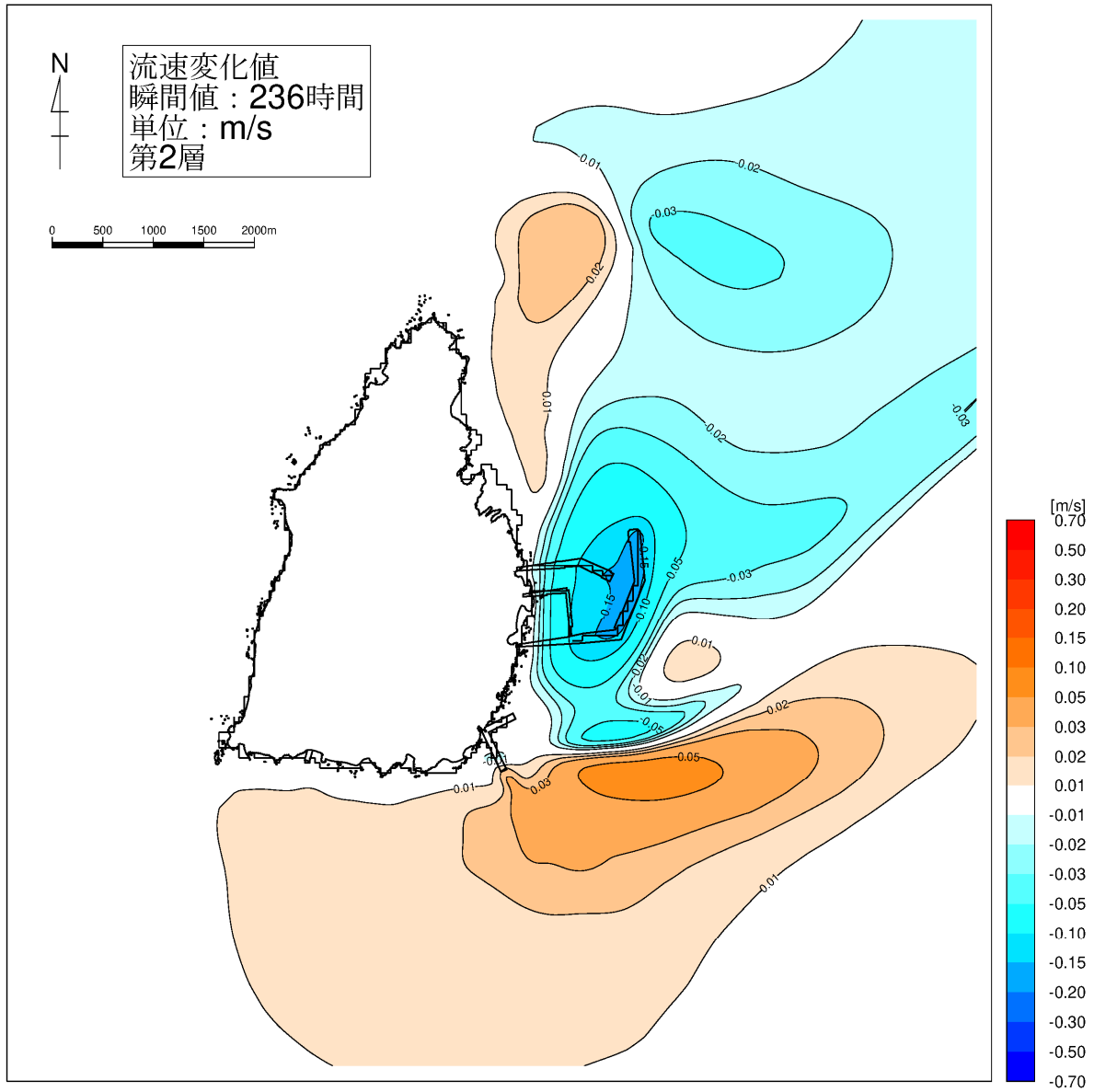


図-6.9.99(2) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第2層 (2.0~4.0m)

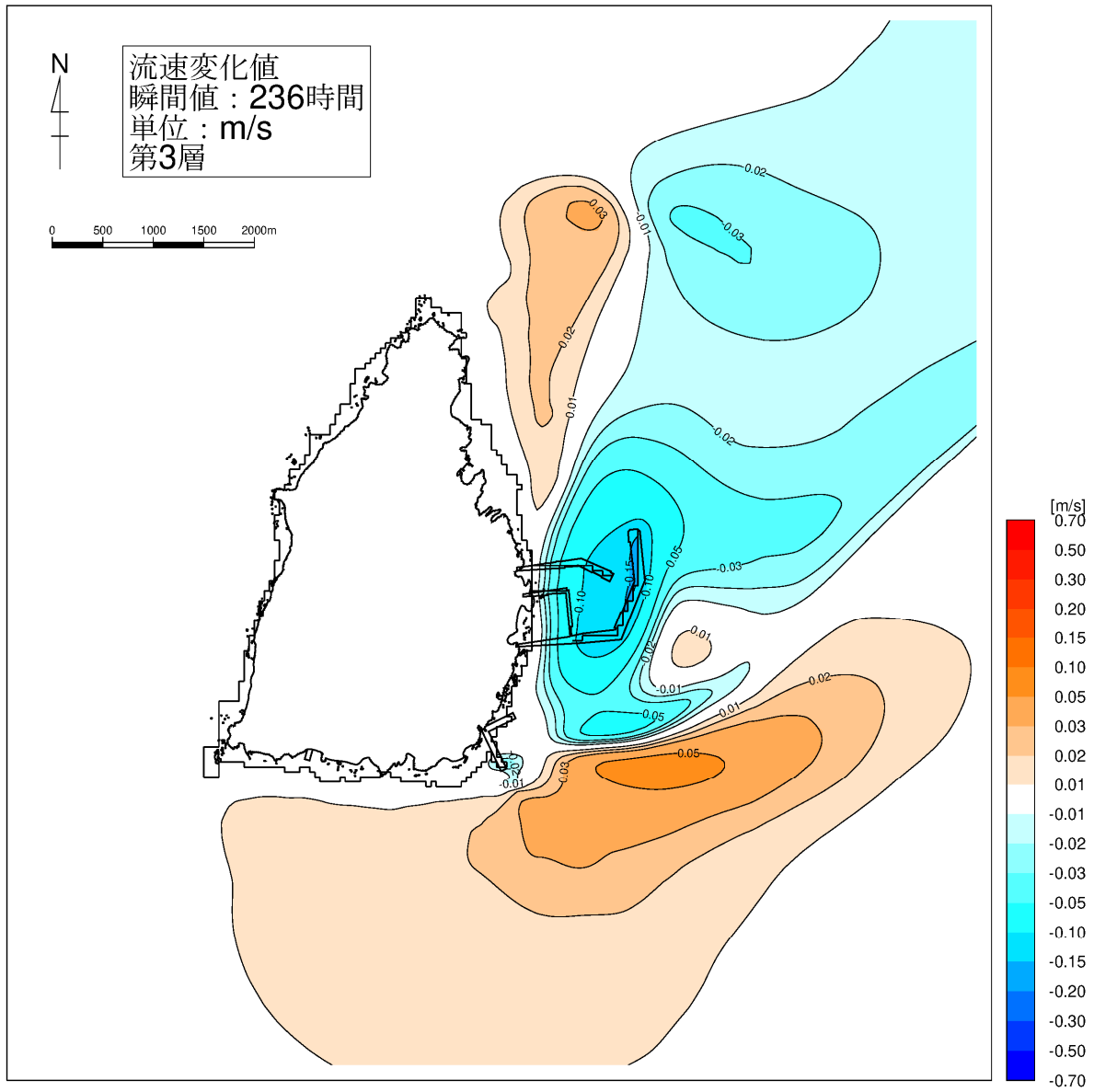


図-6.9.99(3) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季: 上げ潮)
第3層 (4.0~7.0m)

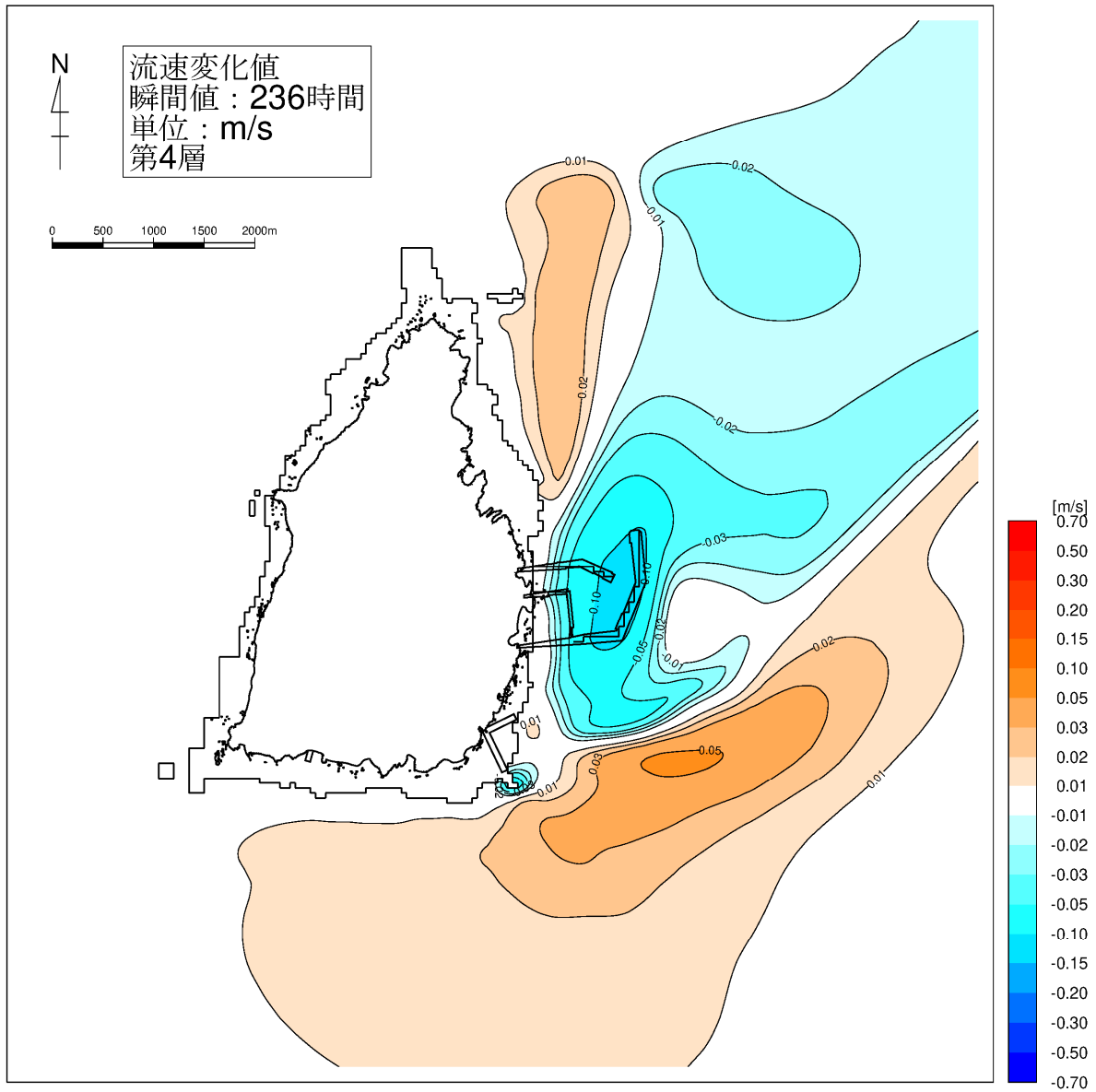


図-6.9.99(4) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第4層 (7.0~10.0m)

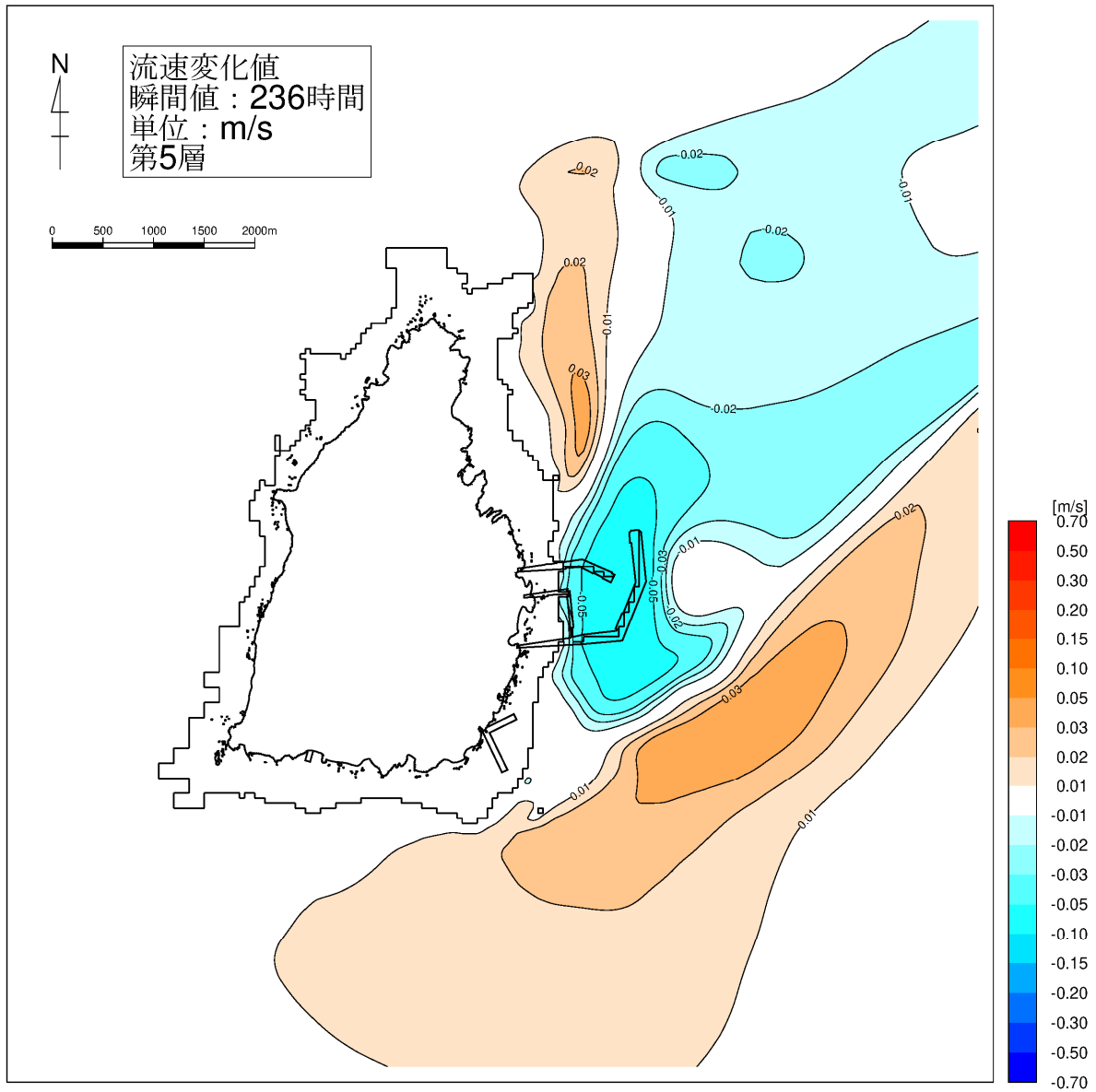


図-6.9.99(5) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第5層 (10.0~15.0m)

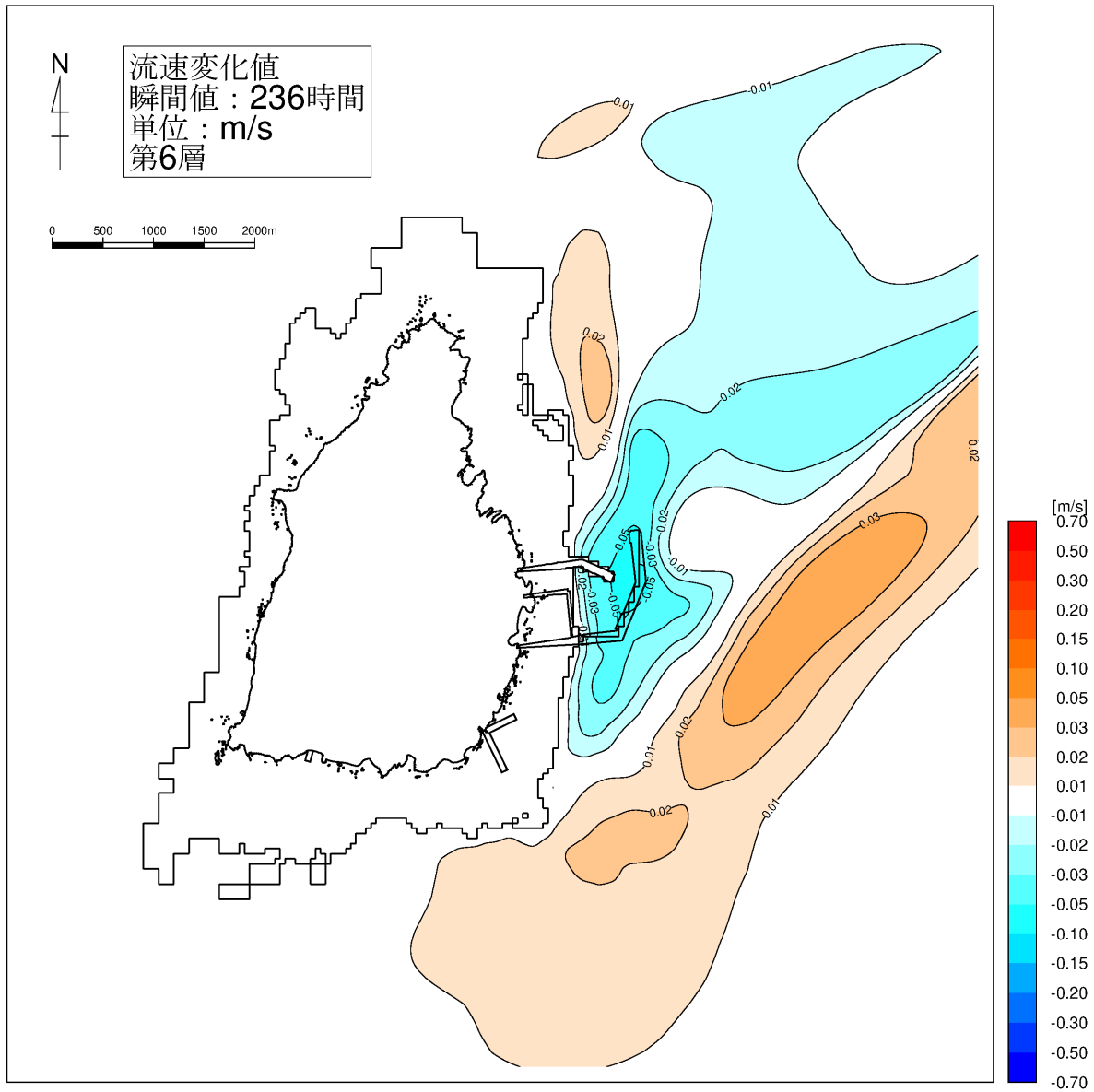


図-6.9.99(6) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第6層 (15.0~20.0m)

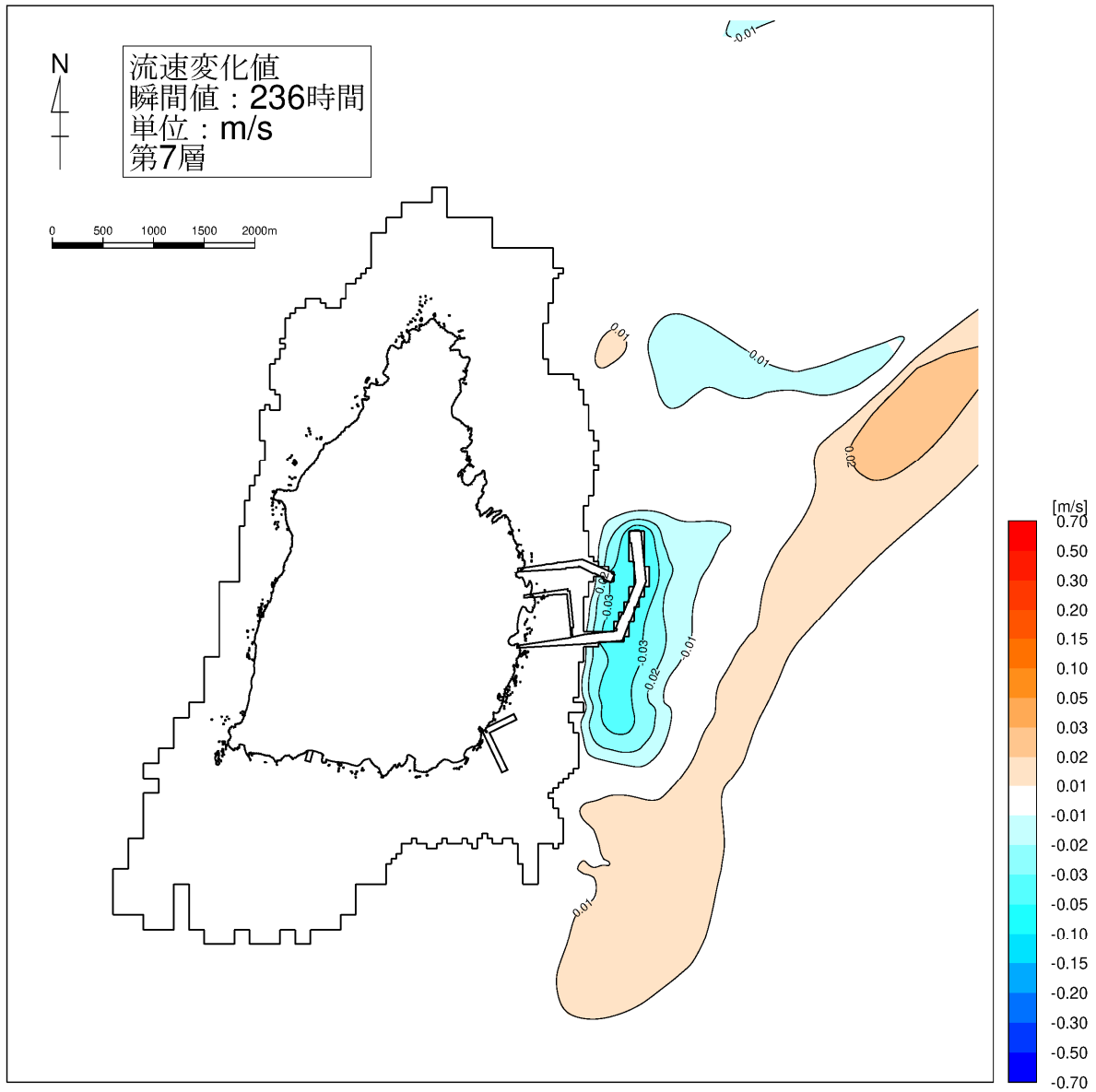


図-6.9.99(7) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第7層 (20.0~30.0m)

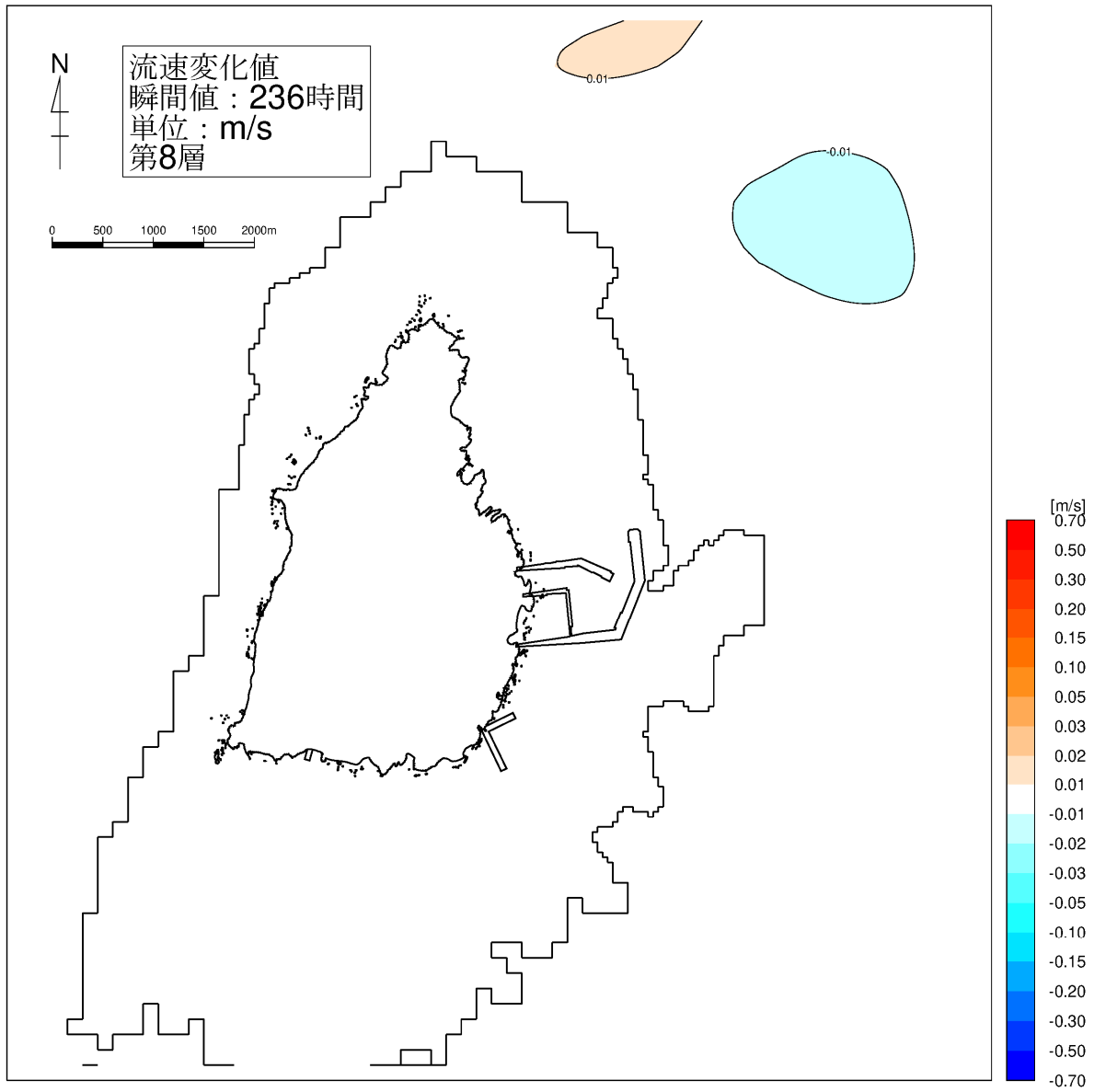


図-6.9.99(8) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：上げ潮)
第8層 (30.0~50.0m)

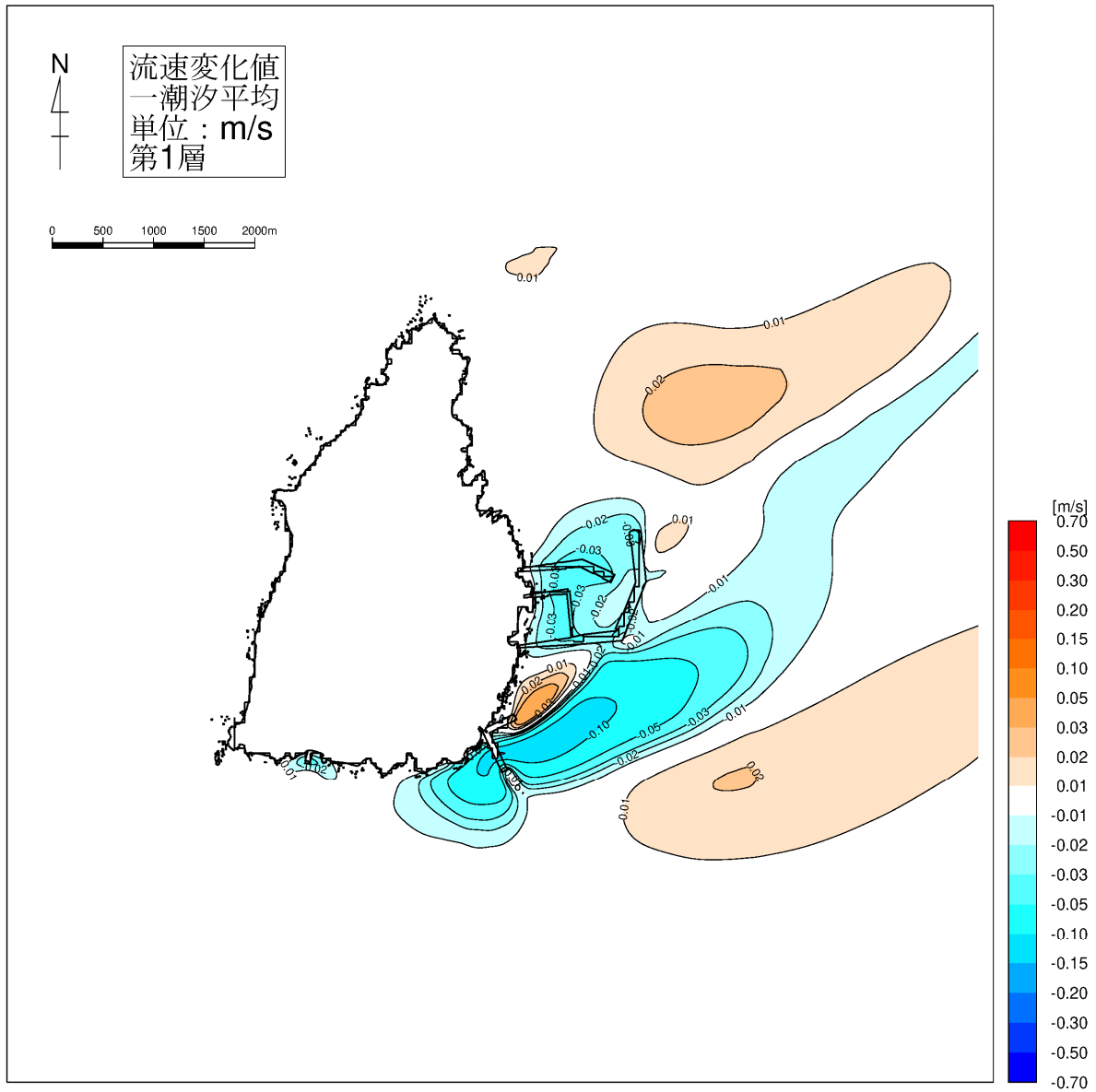


図-6. 9. 100(1) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流 (平均流))
第1層 (0~2.0m)

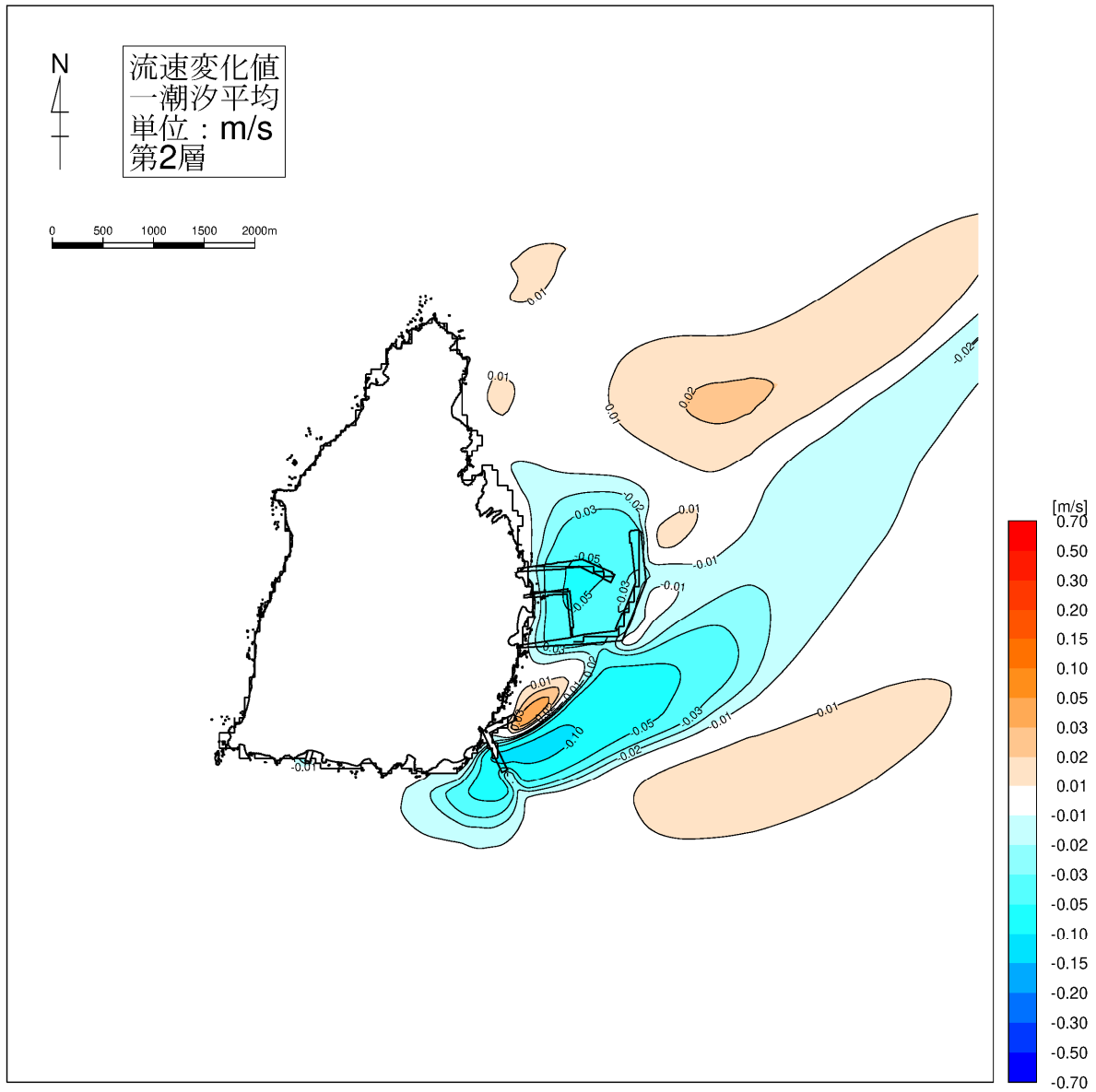


図-6.9.100(2) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流(平均流))
第2層(2.0~4.0m)

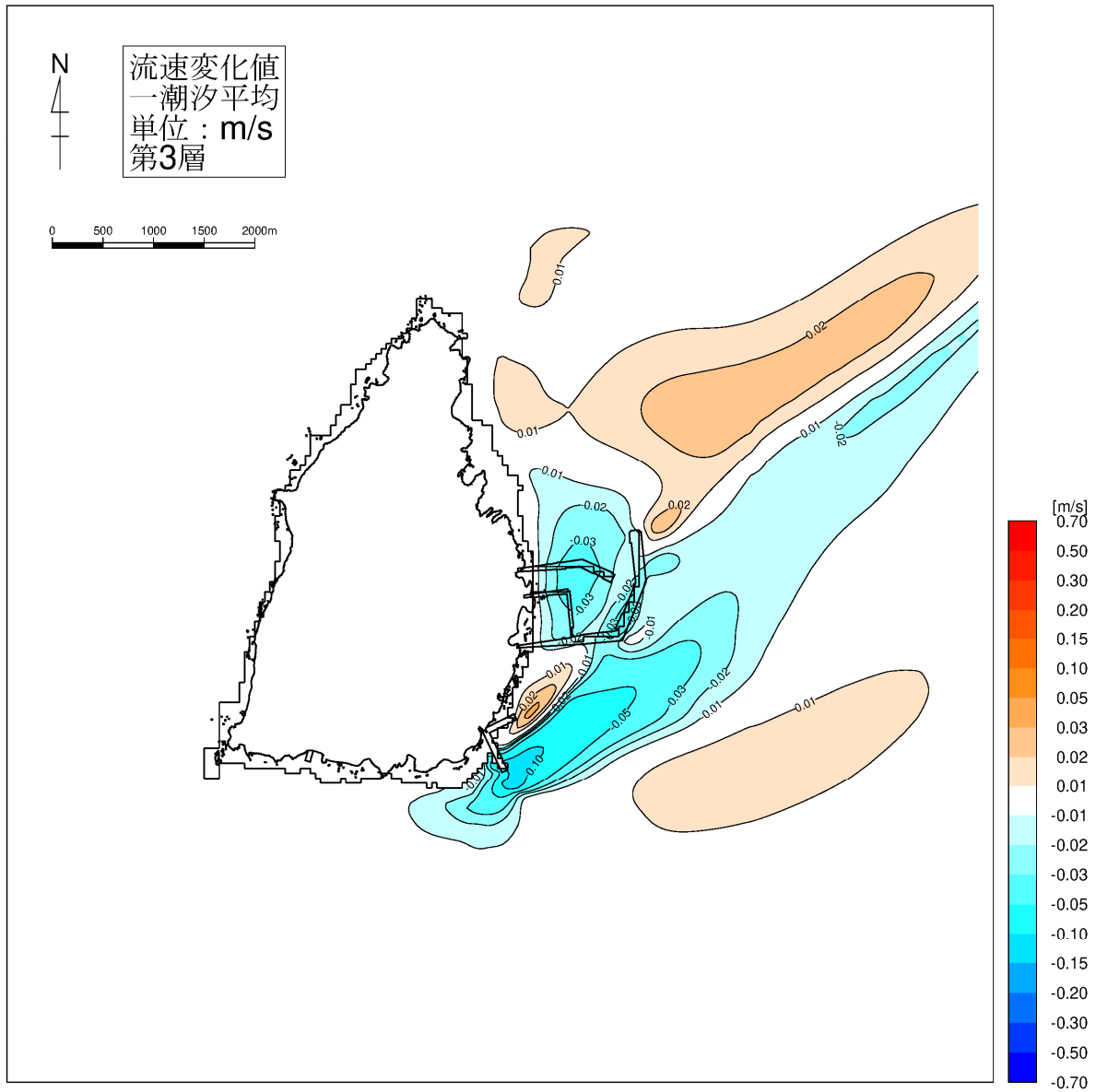


図-6.9.100(3) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流(平均流))
第3層(4.0~7.0m)

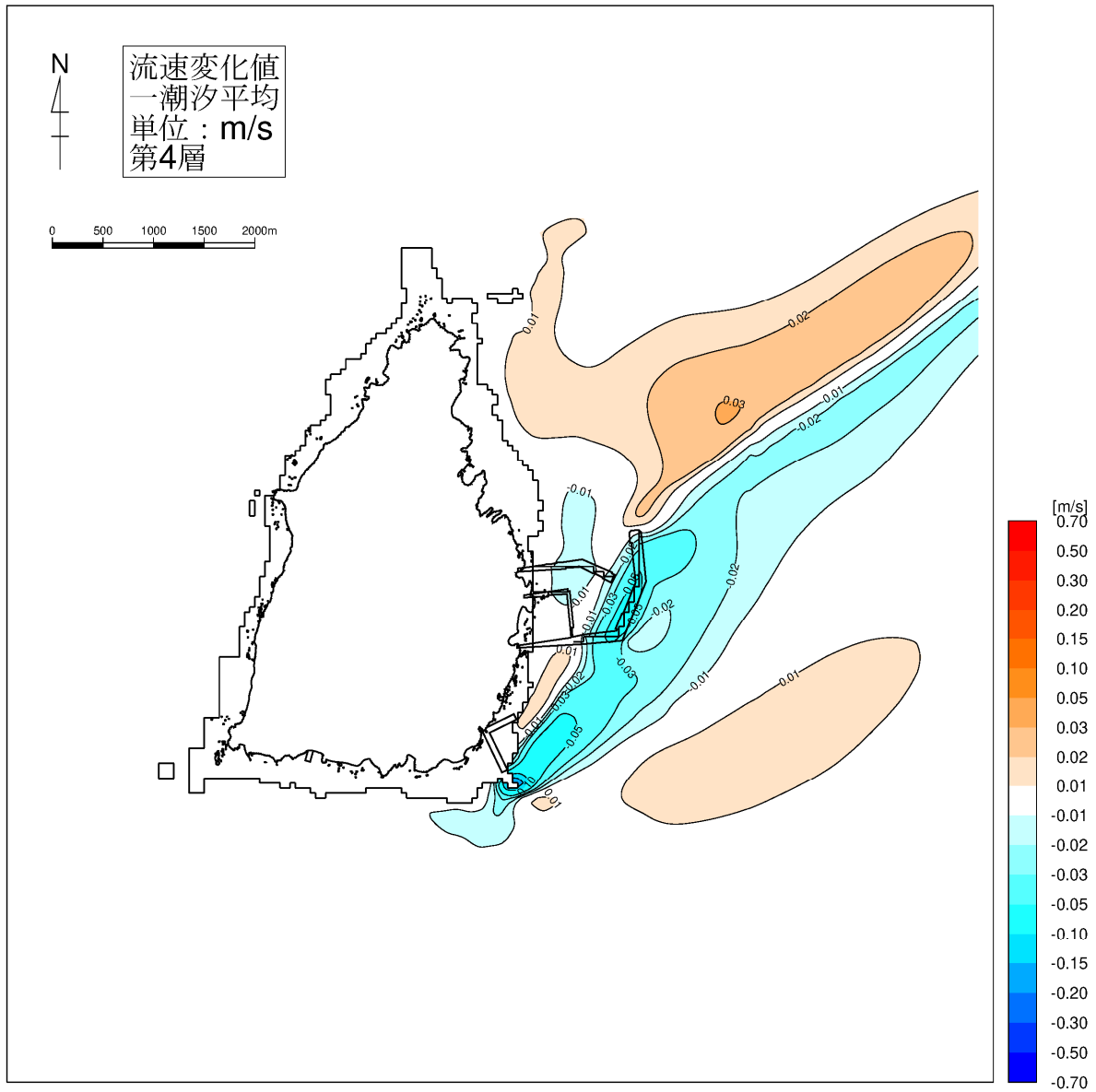


図-6. 9. 100(4) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流 (平均流))
第4層 (7.0~10.0m)

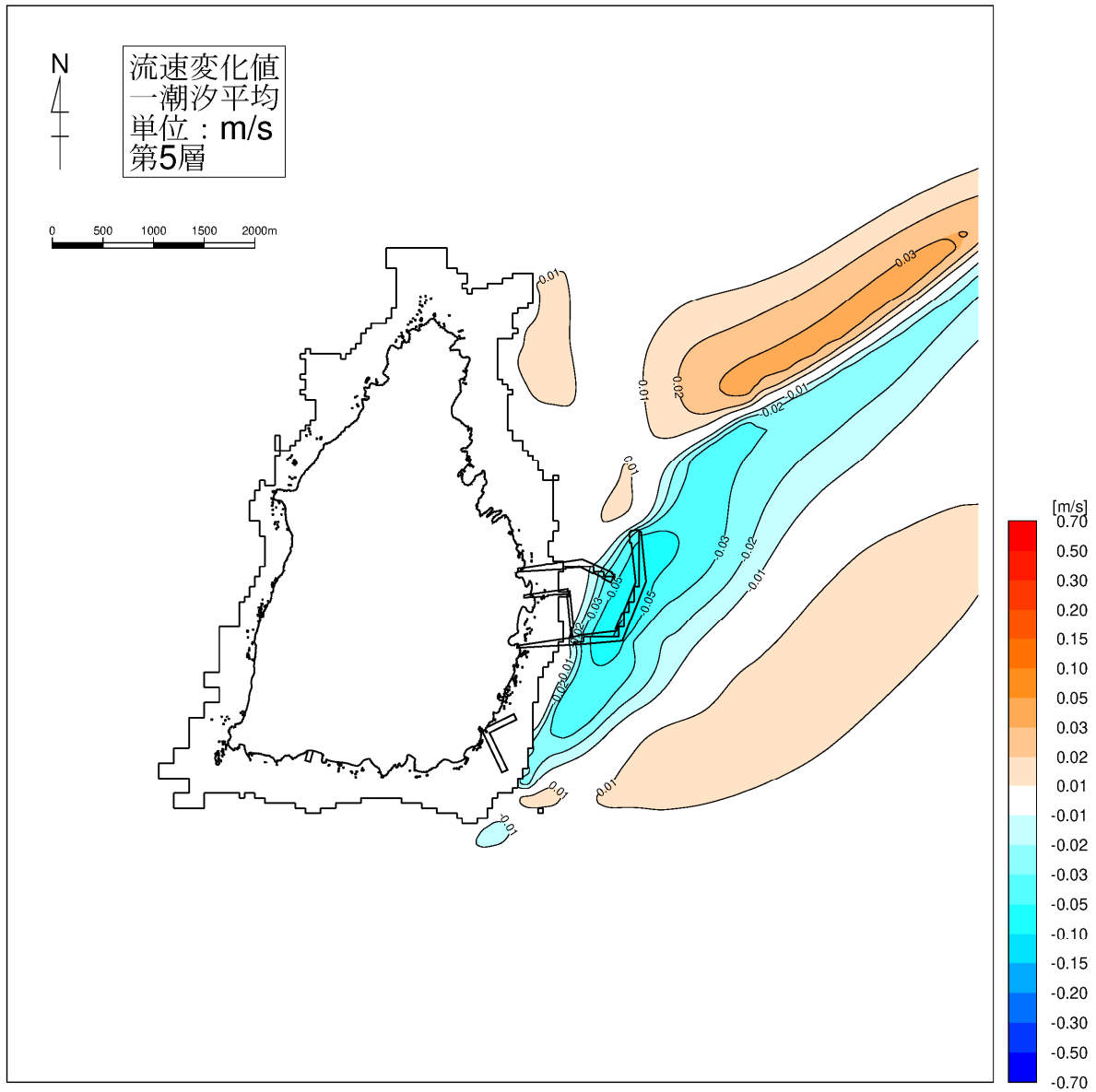


図-6.9.100(5) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流(平均流))
第5層(10.0~15.0m)

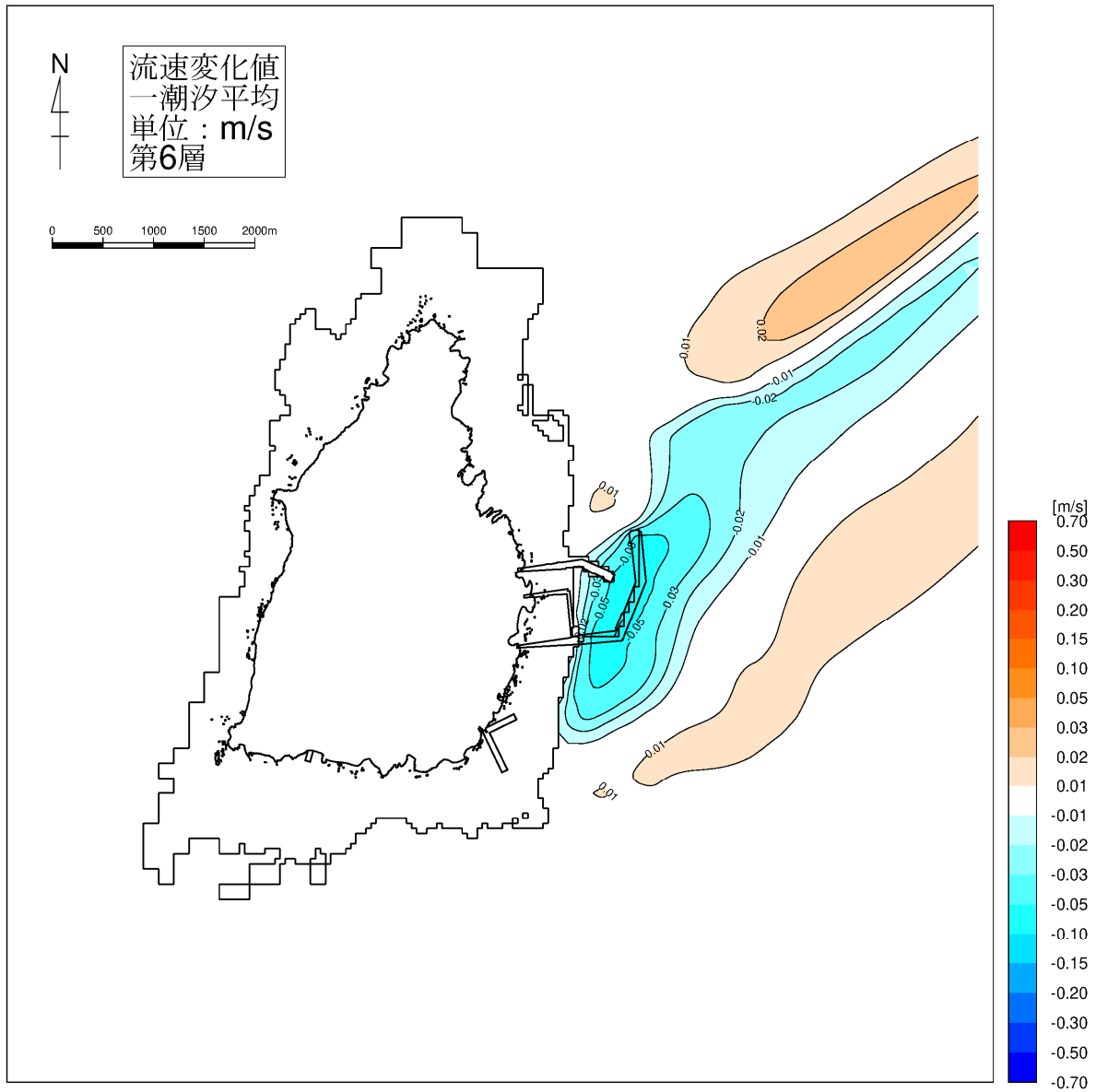


図-6. 9. 100(6) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流 (平均流))
第6層 (15.0~20.0m)

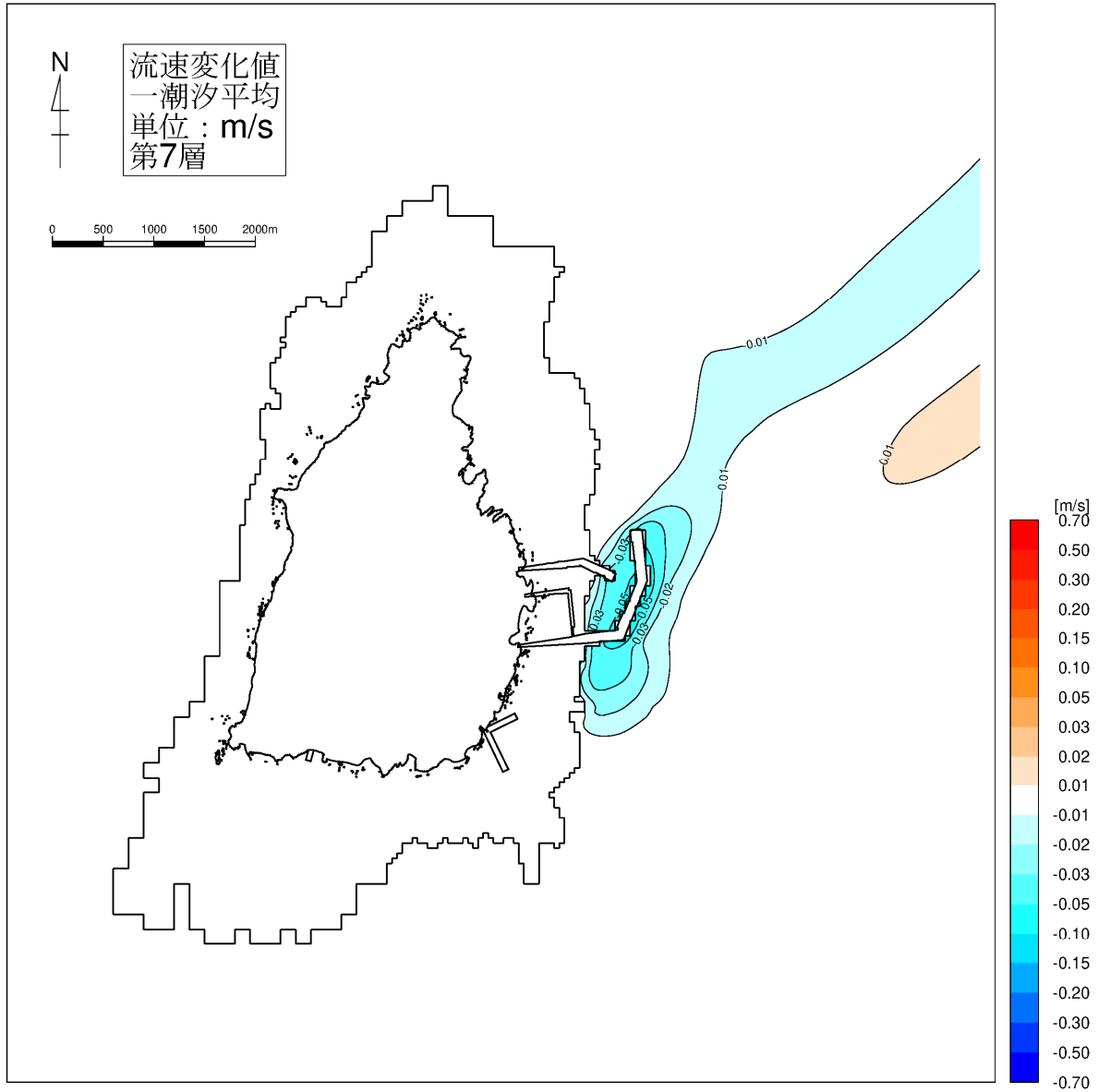


図-6. 9. 100(7) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流 (平均流))
第7層 (20.0~30.0m)

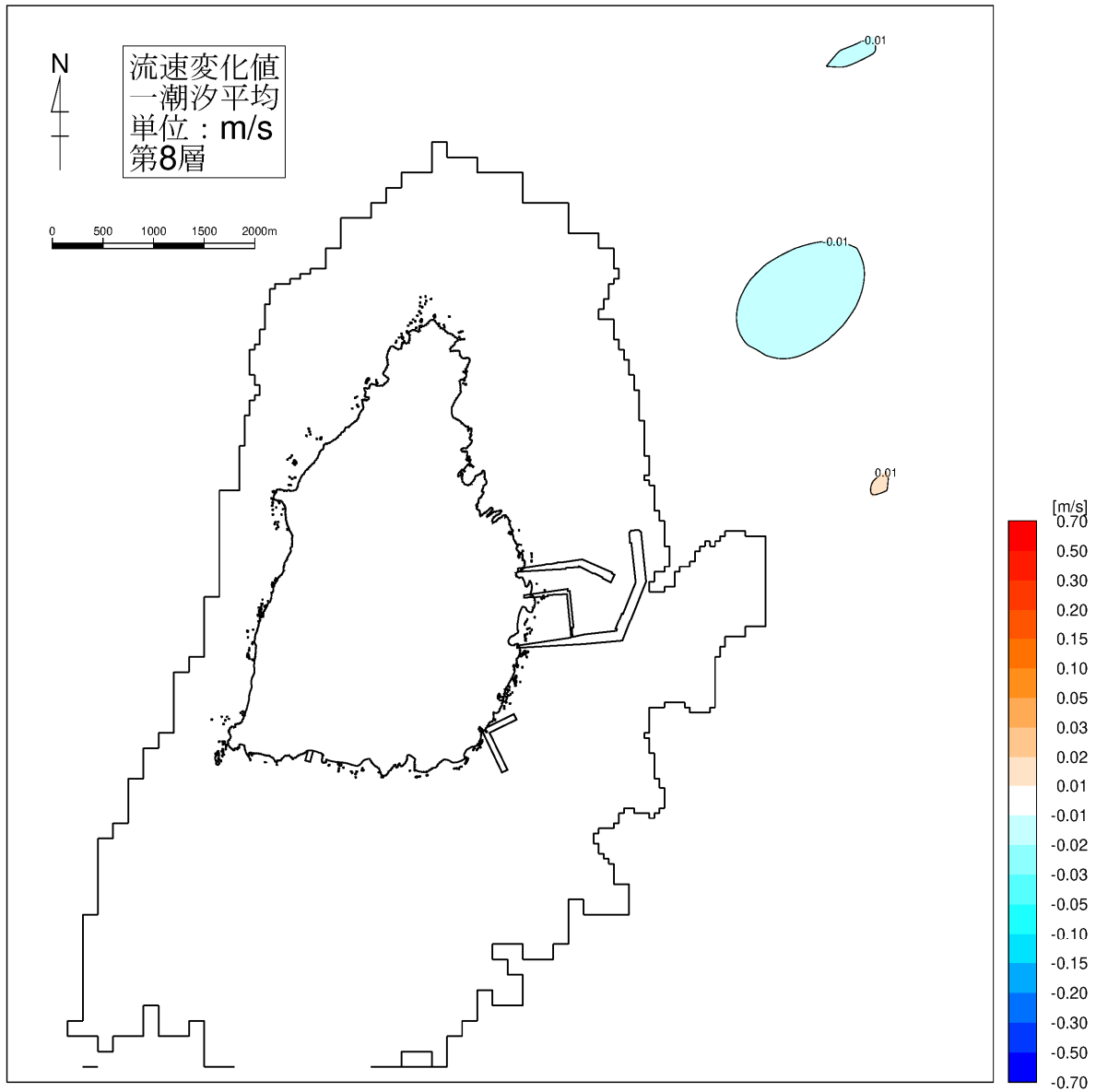


図-6. 9. 100(8) 流速絶対値の変化図(存在時—現況) (冬季：恒流 (平均流))
第8層 (30.0~50.0m)

(b) 水温・塩分の変化

「現況ケース」と「施設等の存在時」の水温・塩分分布の重ね描き及び「施設等の存在時」—「現況ケース」の水温・塩分変化値について、夏季及び冬季について水温比較図を図-6.9.101～図-6.9.102に、塩分比較図を図-6.9.103～図-6.9.104に示しました。

a) 水温

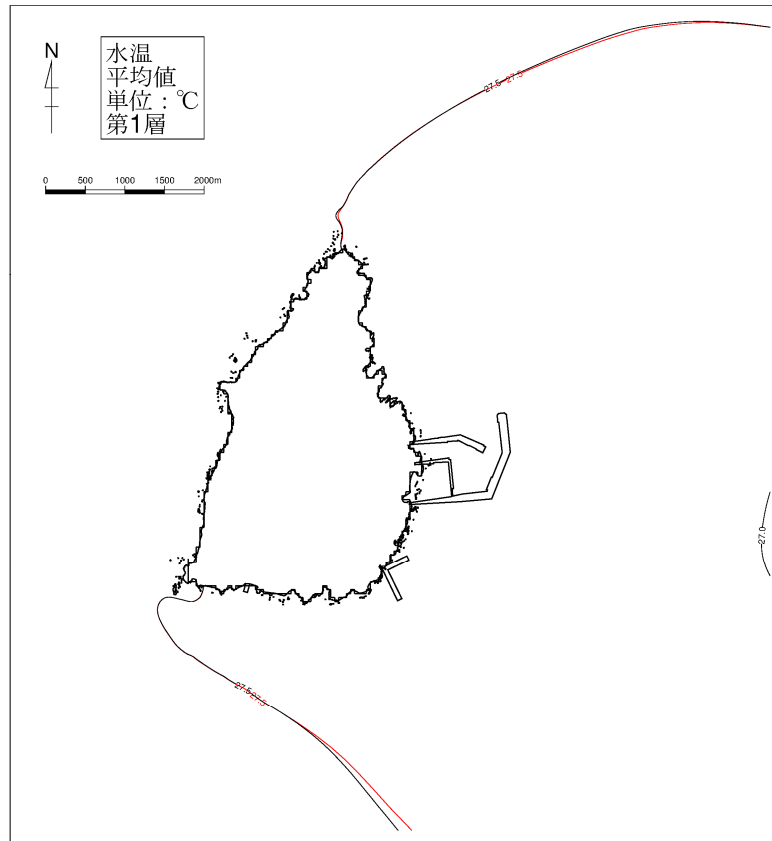
- ・ 夏季の水温の変化は、港湾施設の内側及び外側の北側で水温が上昇し、港湾施設の外側の南側で水温が低下する傾向がみられました。港湾施設の内外で局所的に1.0未満の水温変化がみられました。
- ・ 冬季の水温の変化は、 $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 以上の水温変化はみられませんでした。
- ・ 港湾施設本体からの汚水処理水の排水による $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以上の水温変化はみられません。

b) 塩分

- ・ 夏季の塩分の変化は、港湾施設の内側及び外側の北側で塩分が低下し、港湾施設の外側の南側で塩分が増加する傾向がみられました。港湾施設の内外で局所的に0.3未満の塩分変化がみられました。
- ・ 冬季の塩分の変化は、 ± 0.1 以上の塩分変化はみられませんでした。
- ・ 港湾施設本体からの汚水処理水の排水による ± 0.1 以上の塩分変化はみられません。

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

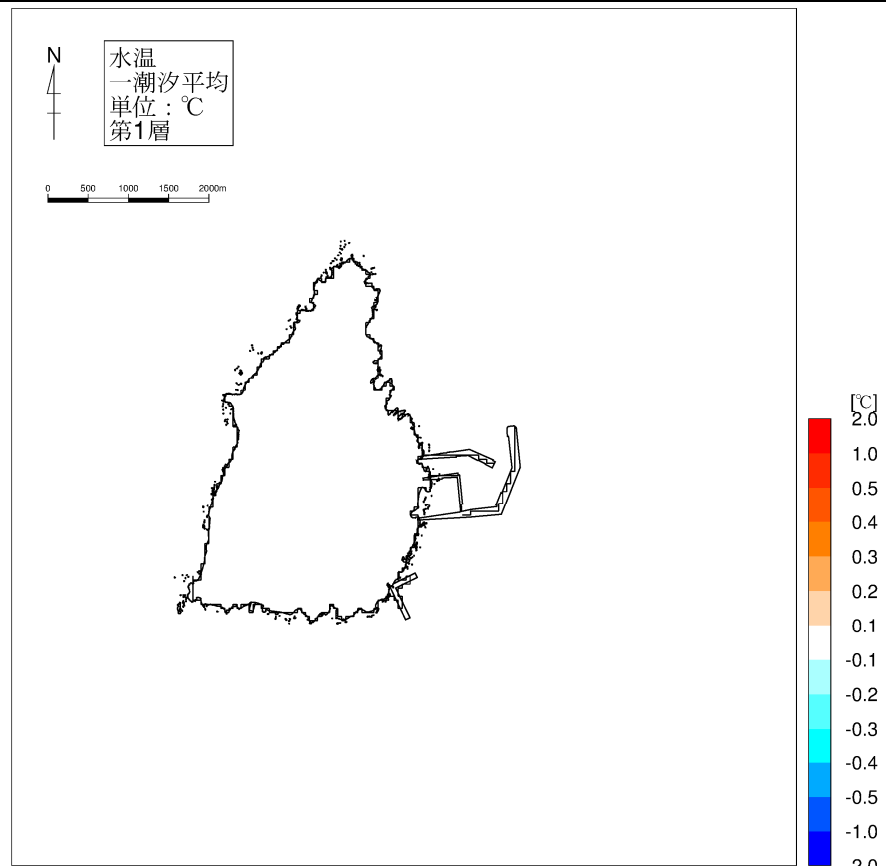
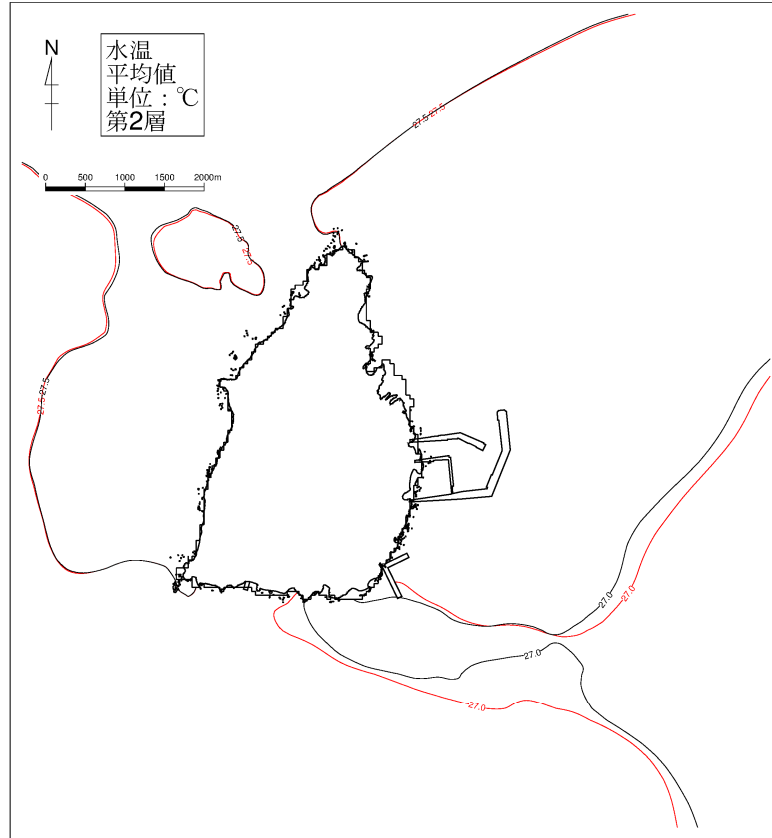


図-6.9.101(1) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第1層(0~2.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

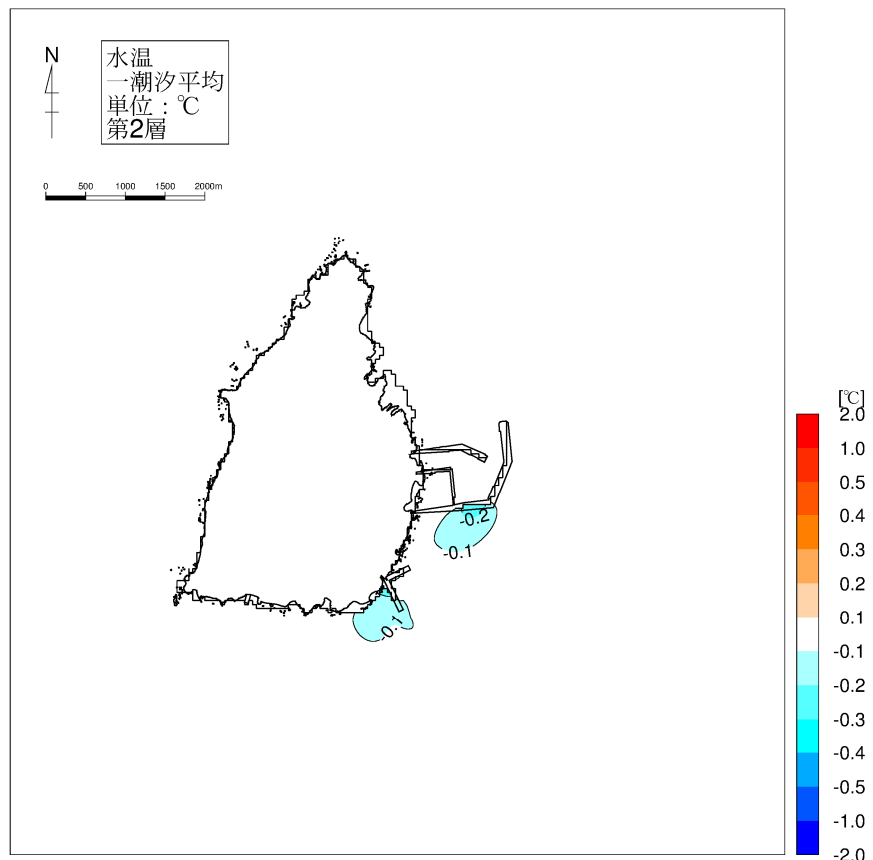
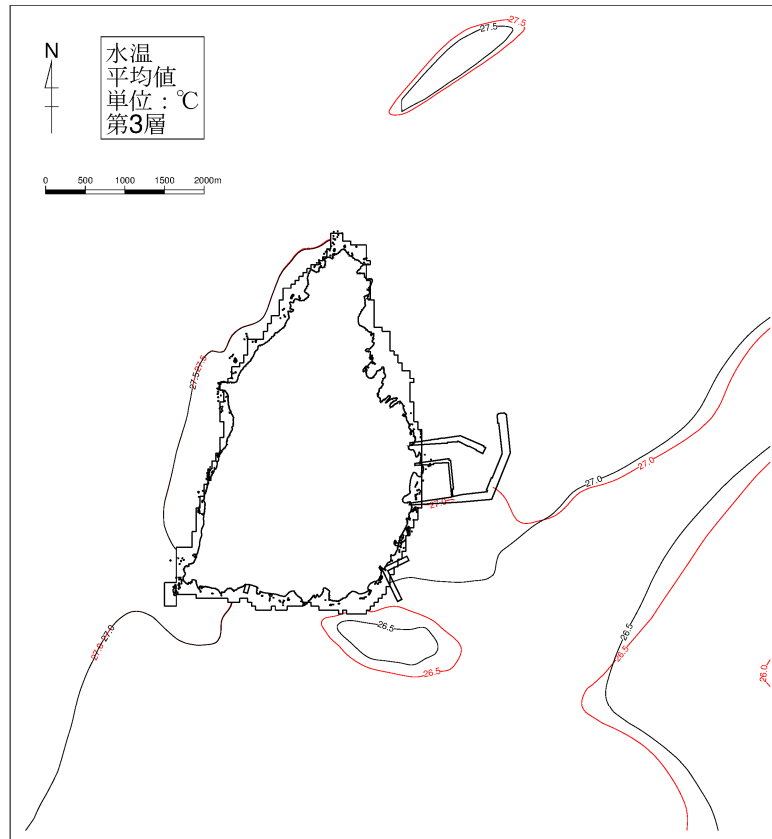


図-6.9.101(2) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第2層(2.0~4.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

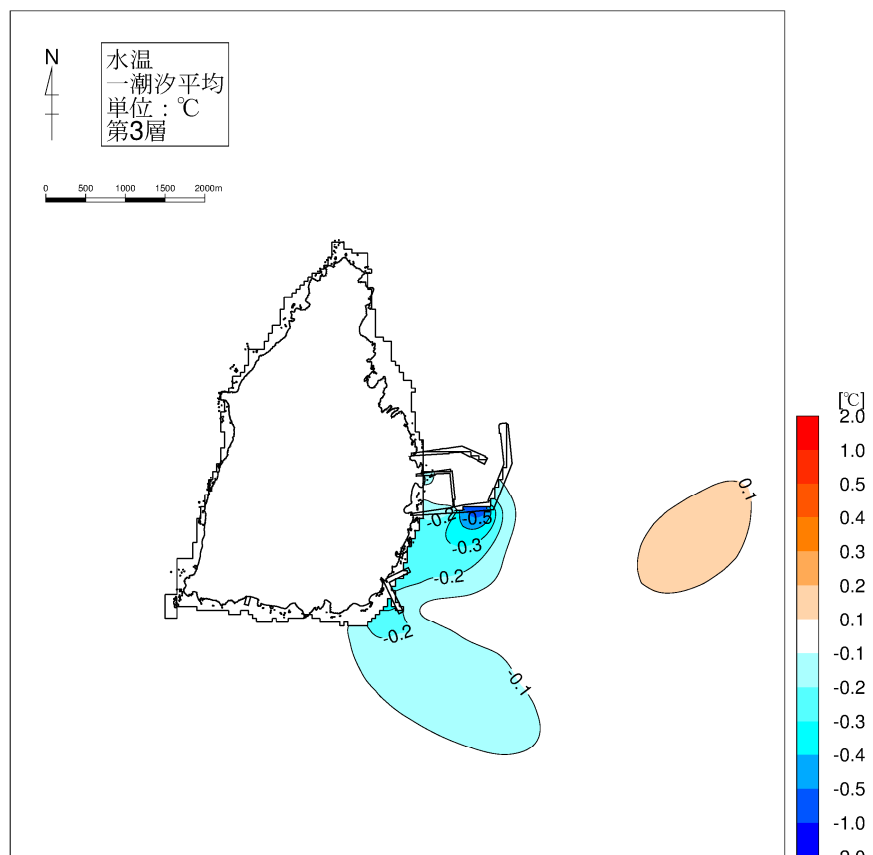
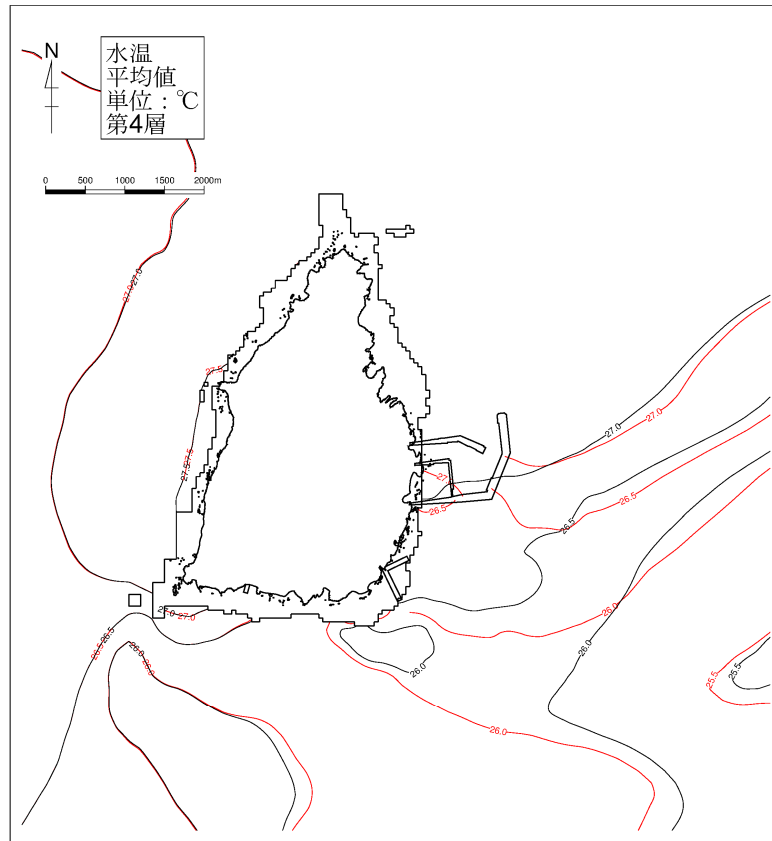


図-6.9.101(3) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第3層(4.0~7.0m))

水温分布

— : 現況
 — : 将来



水温変化

(存在時—現況)

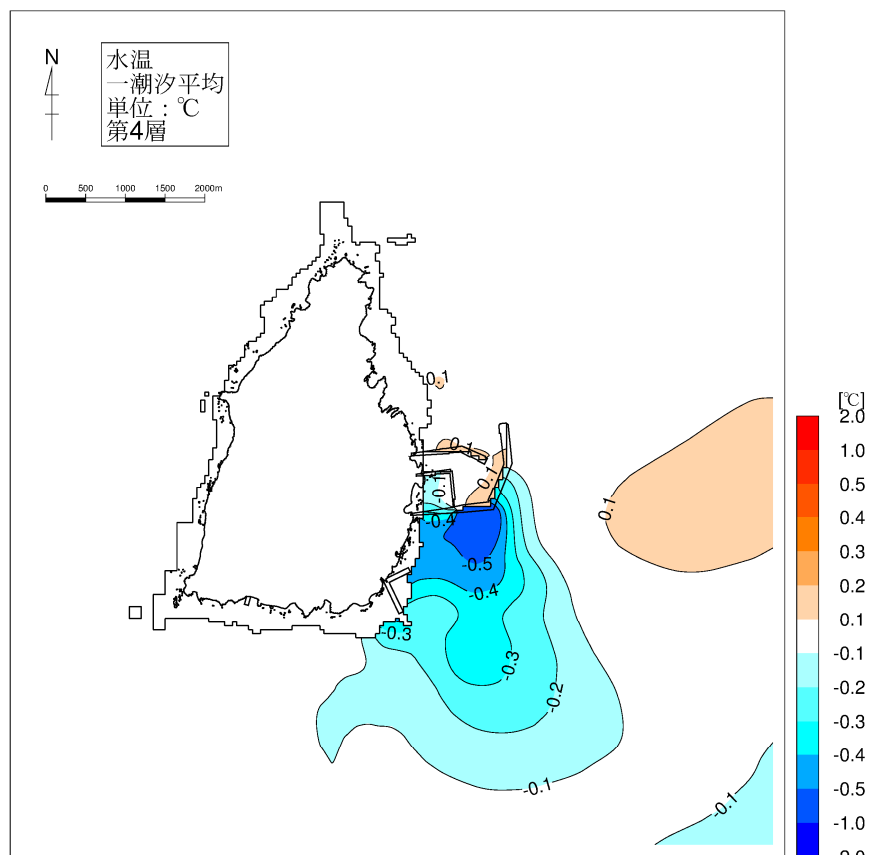
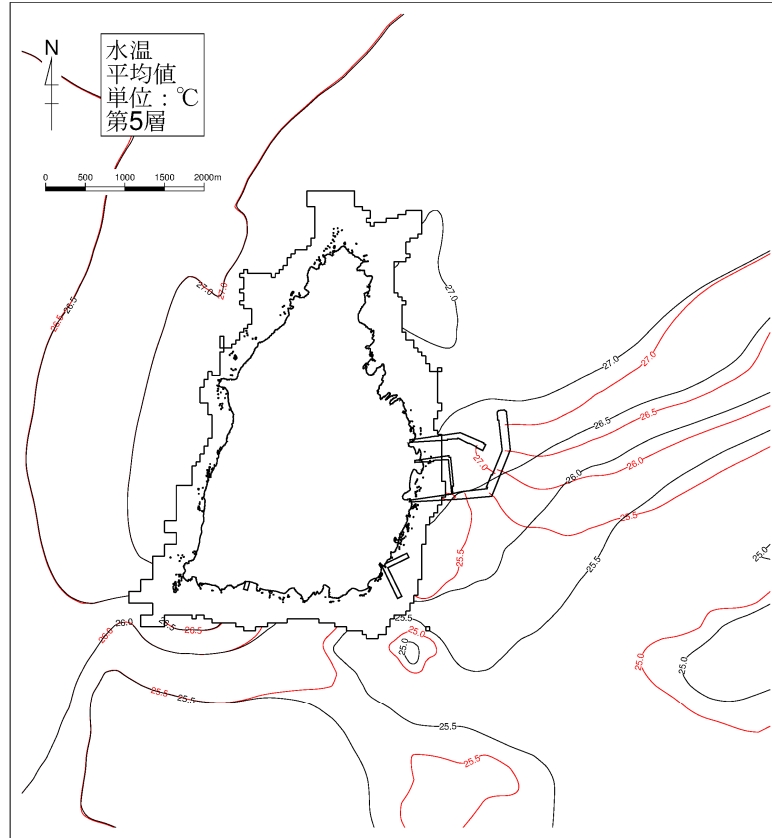


図-6.9.101(4) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第4層 (7.0~10.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

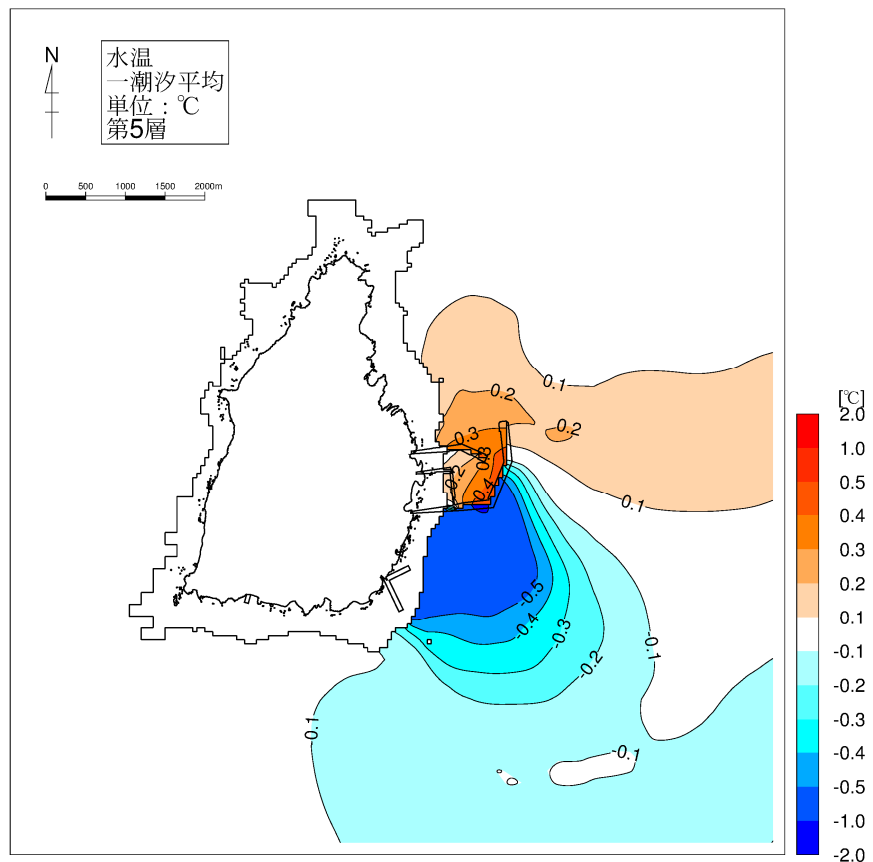
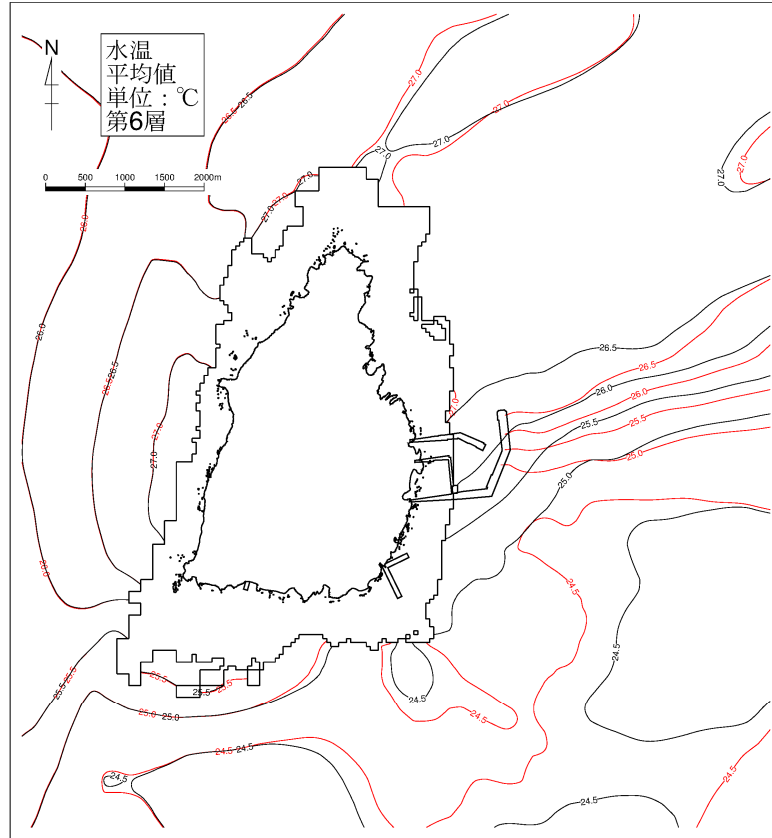


図-6. 9. 101(5) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第5層 (10.0~15.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

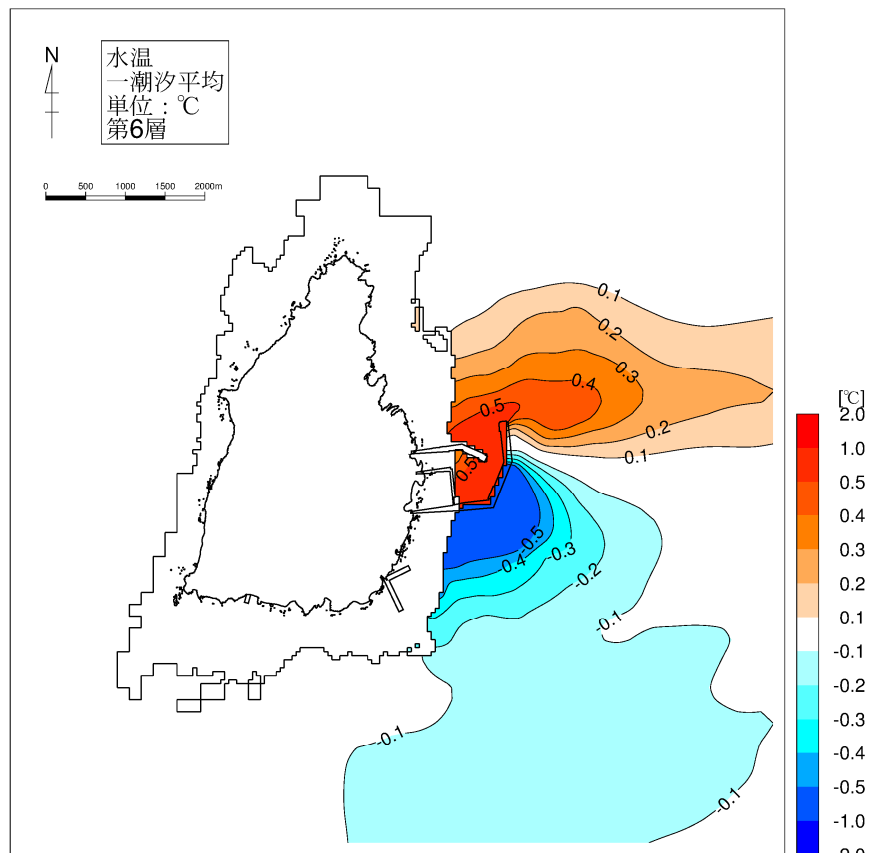
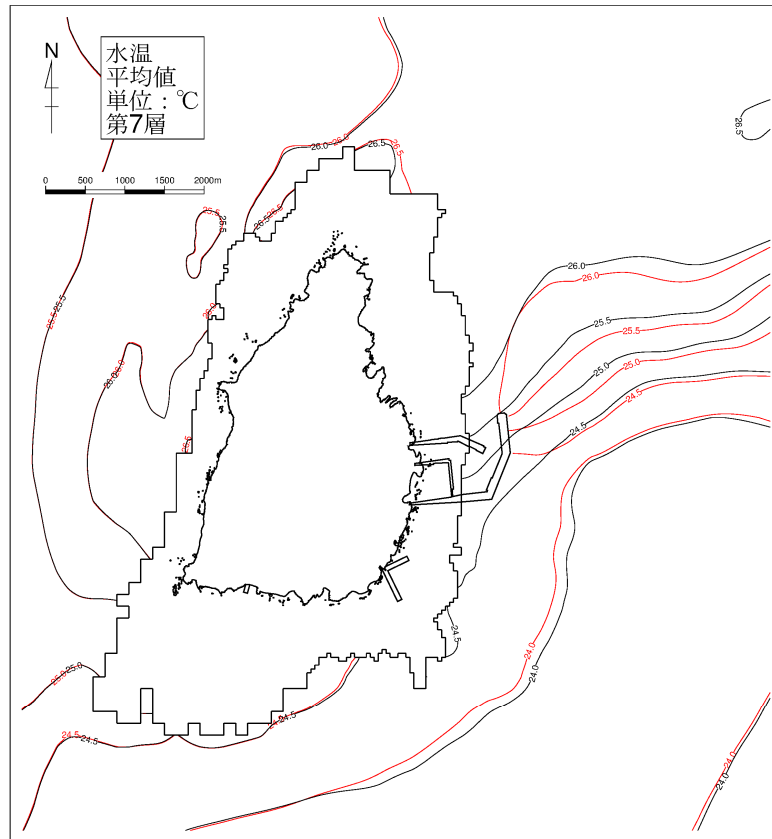


図-6. 9. 101(6) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第6層 (15.0~20.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化

(存在時—現況)

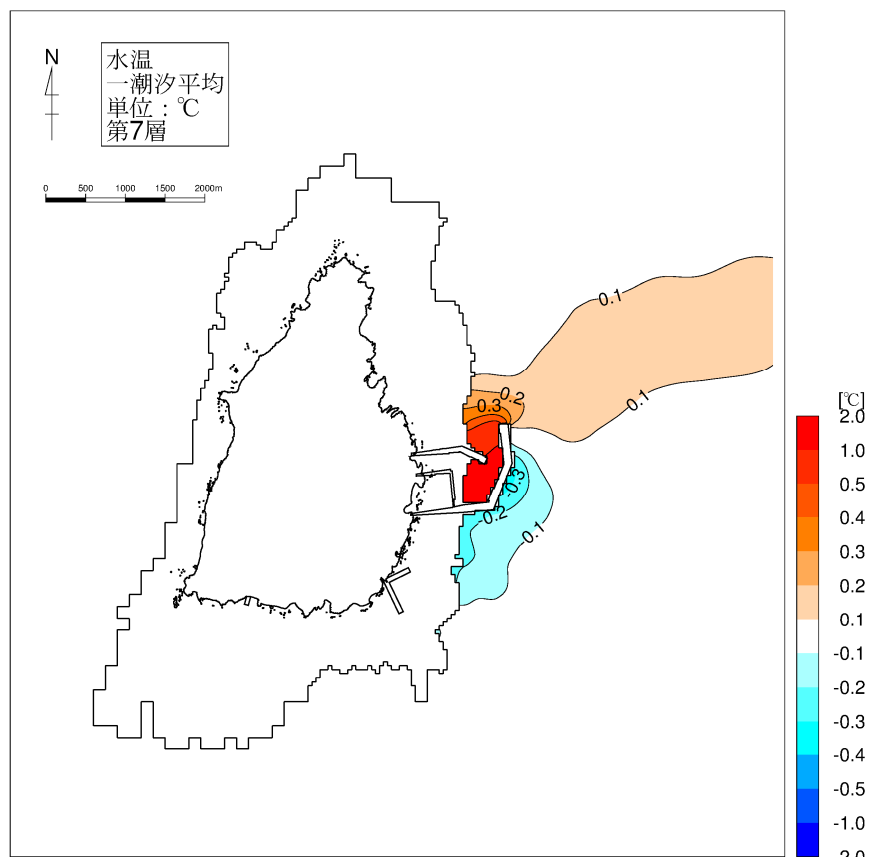
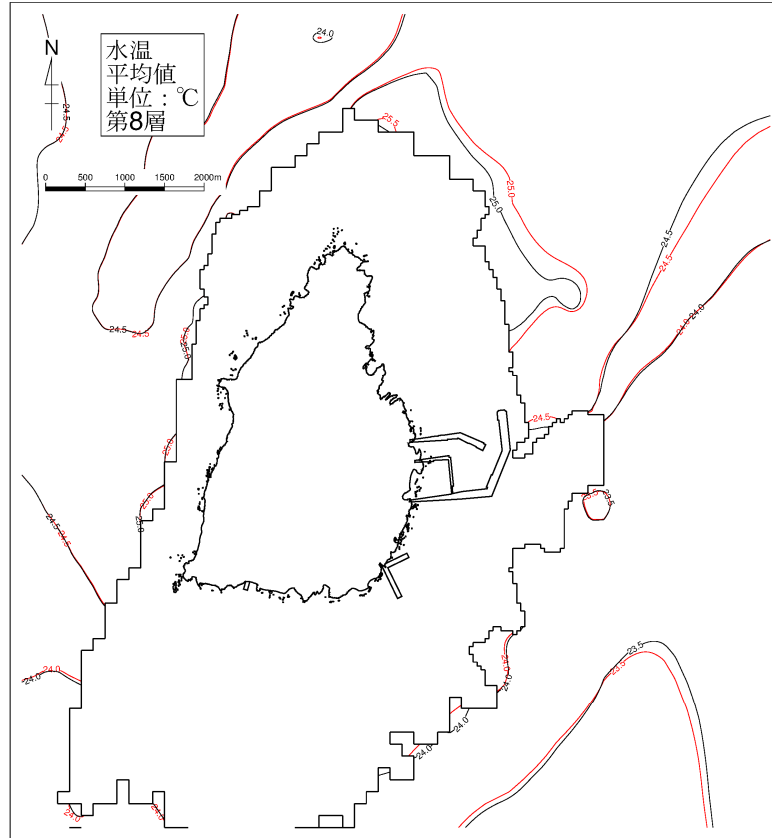


図-6. 9. 101(7) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第7層 (20.0~30.0m))

水温分布

—：現況
—：将来



水温変化

(存在時—現況)

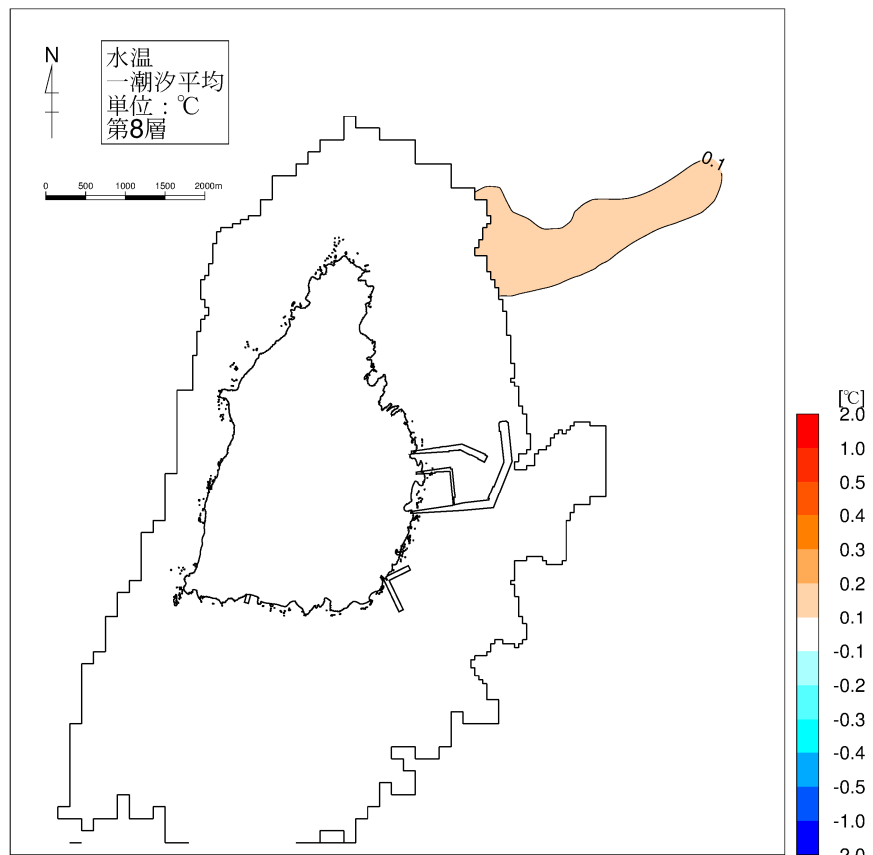
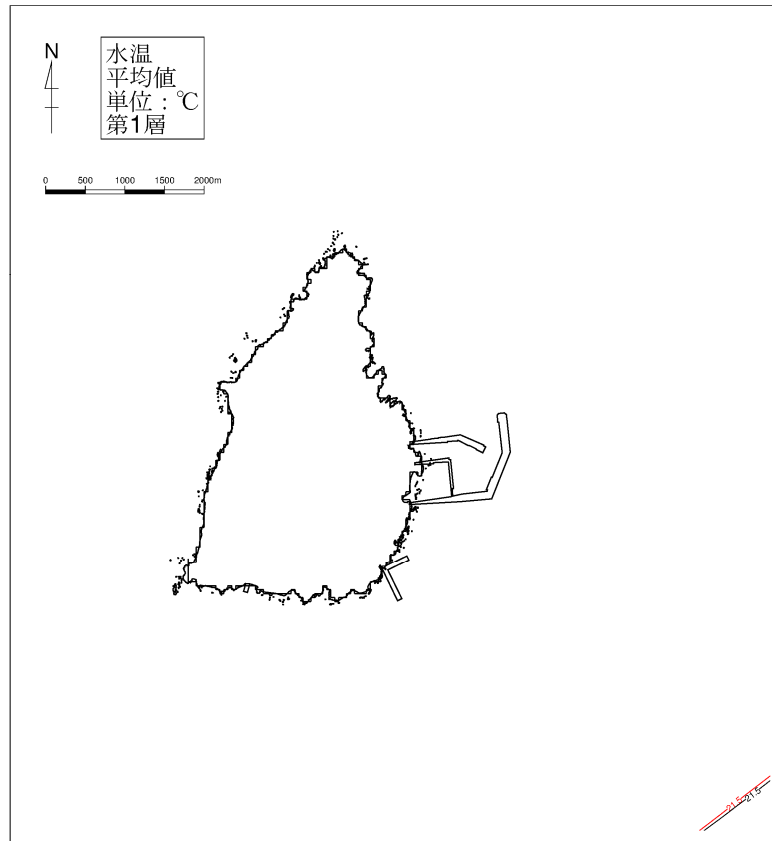


図-6. 9. 101(8) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季：第8層 (30.0～50.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

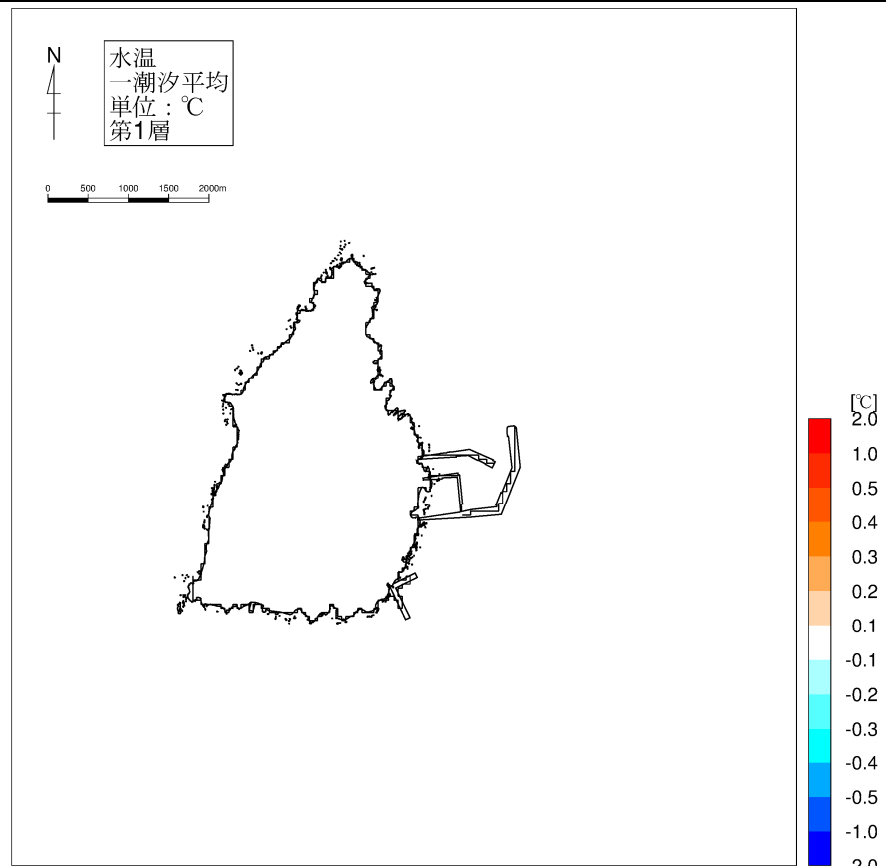
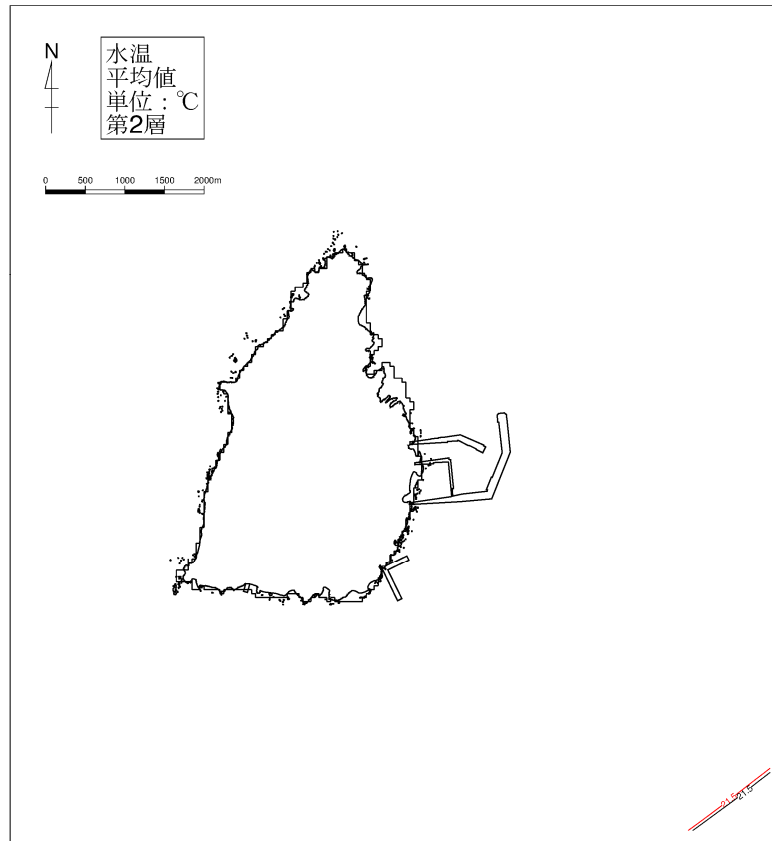


図-6.9.102(1) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(冬季:第1層(0~2.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

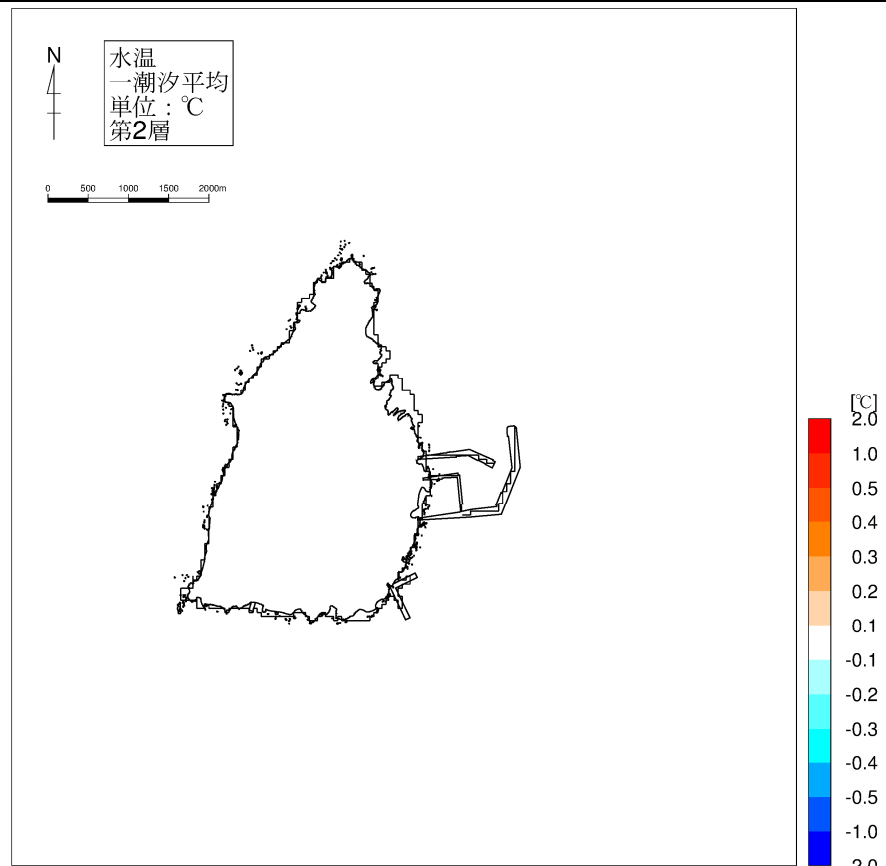
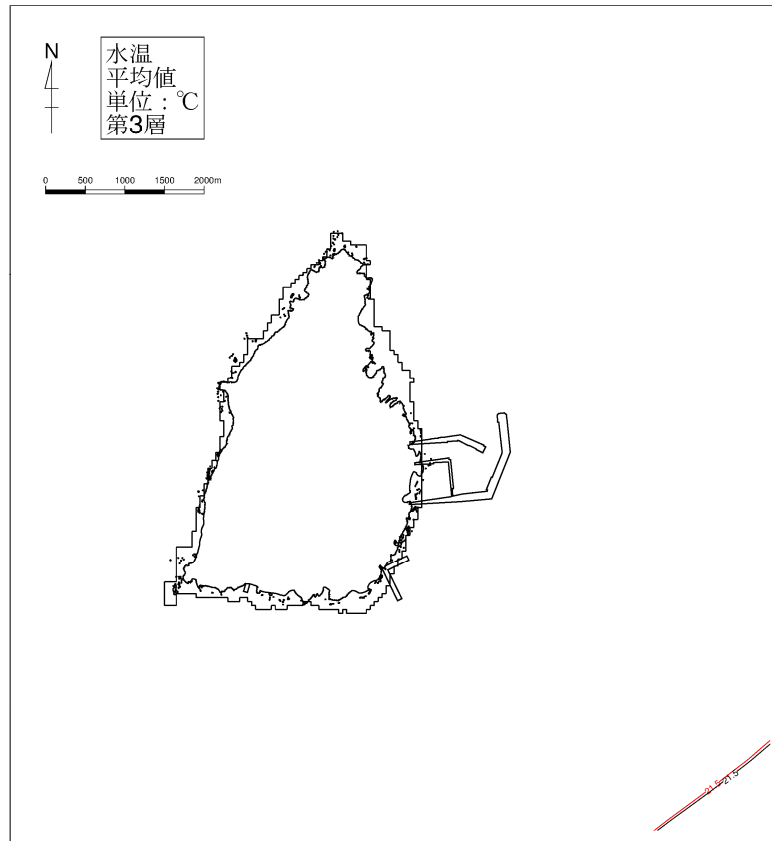


図-6.9.102(2) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(冬季:第2層(2.0~4.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

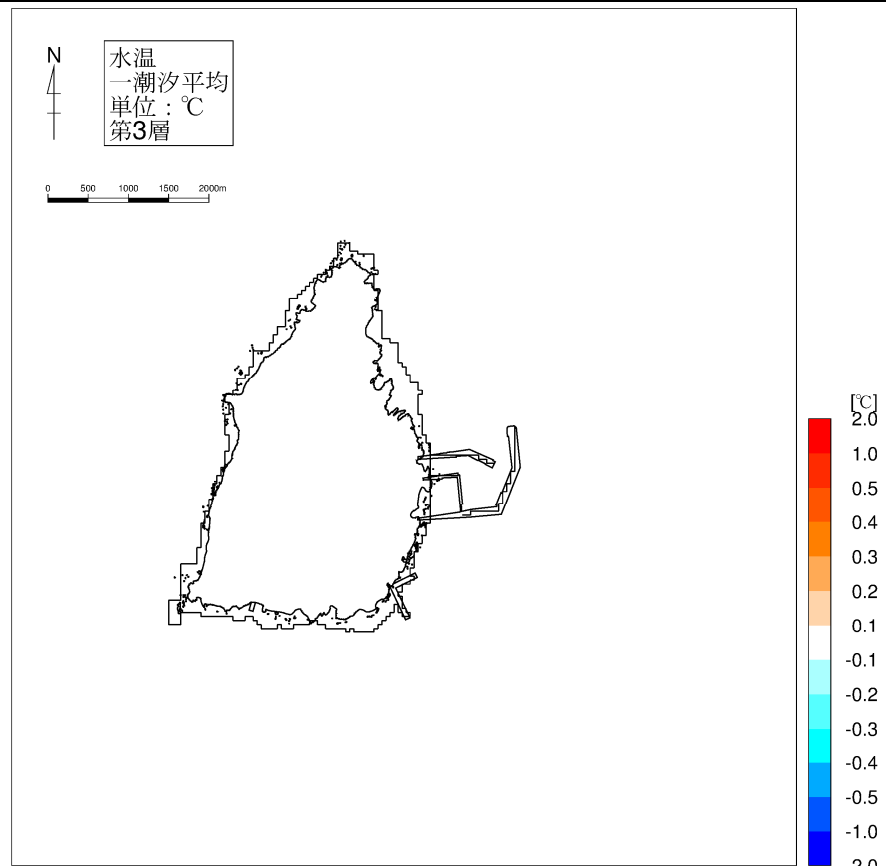
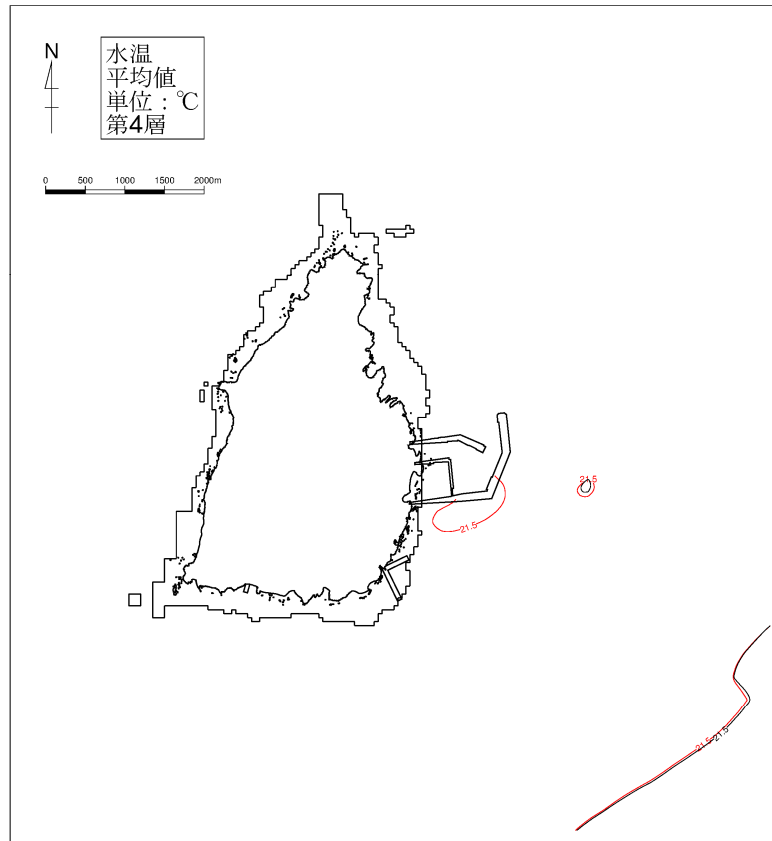


図-6.9.102(3) 水温比較図(現況と施設等の存在時の比較)(冬季:第3層(4.0~7.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

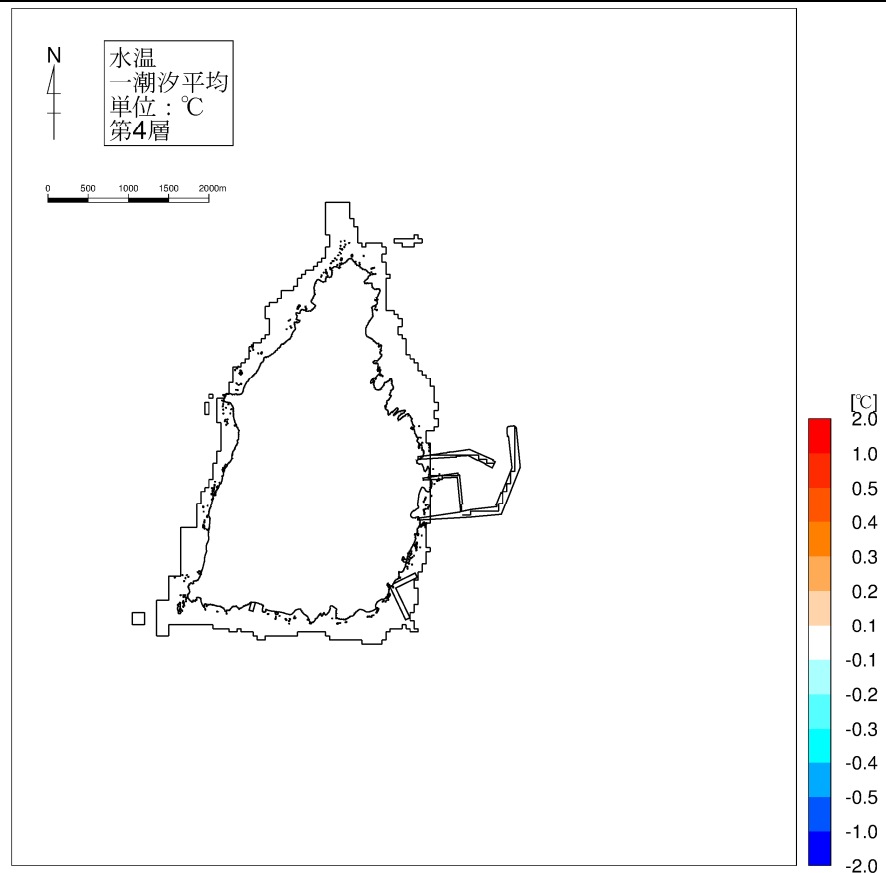
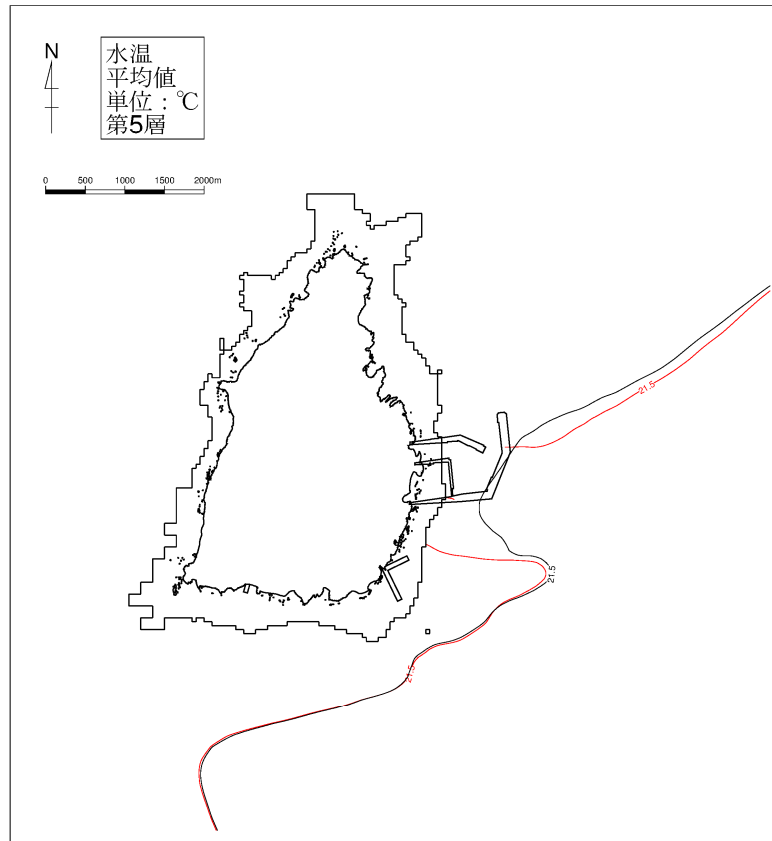


図-6.9.102(4) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第4層 (7.0~10.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

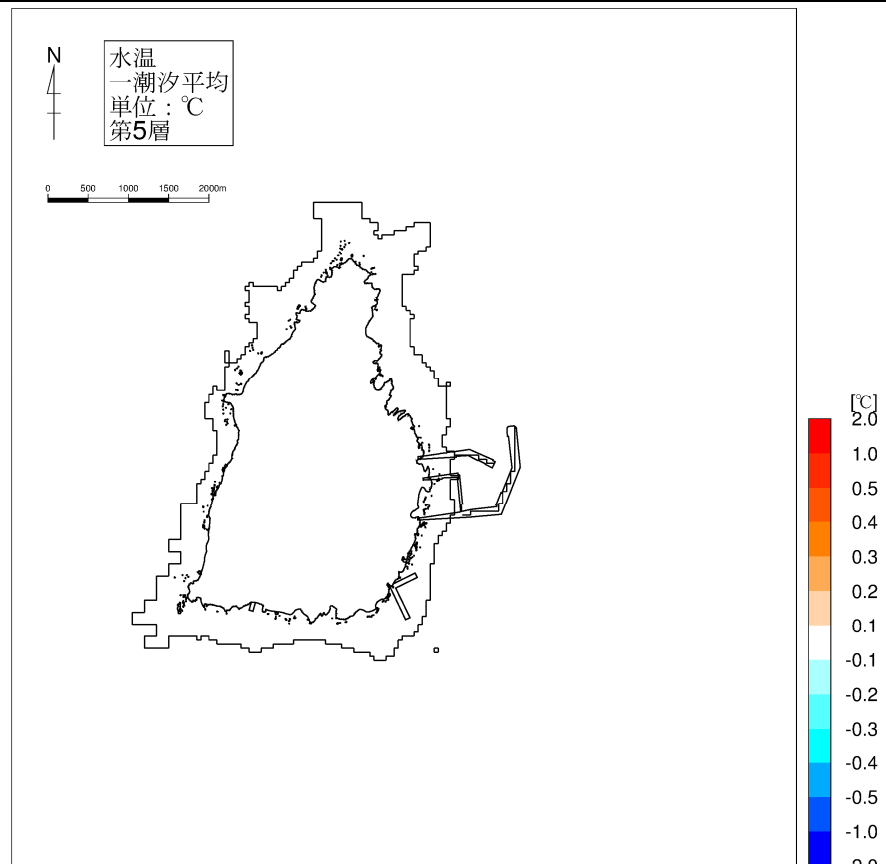
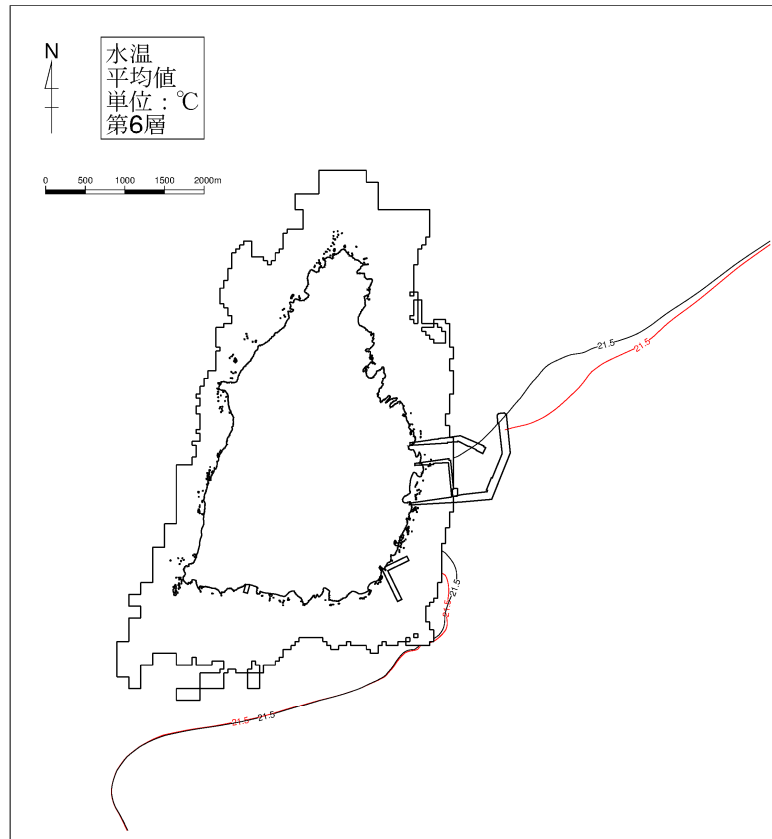


図-6. 9. 102(5) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第5層 (10.0~15.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

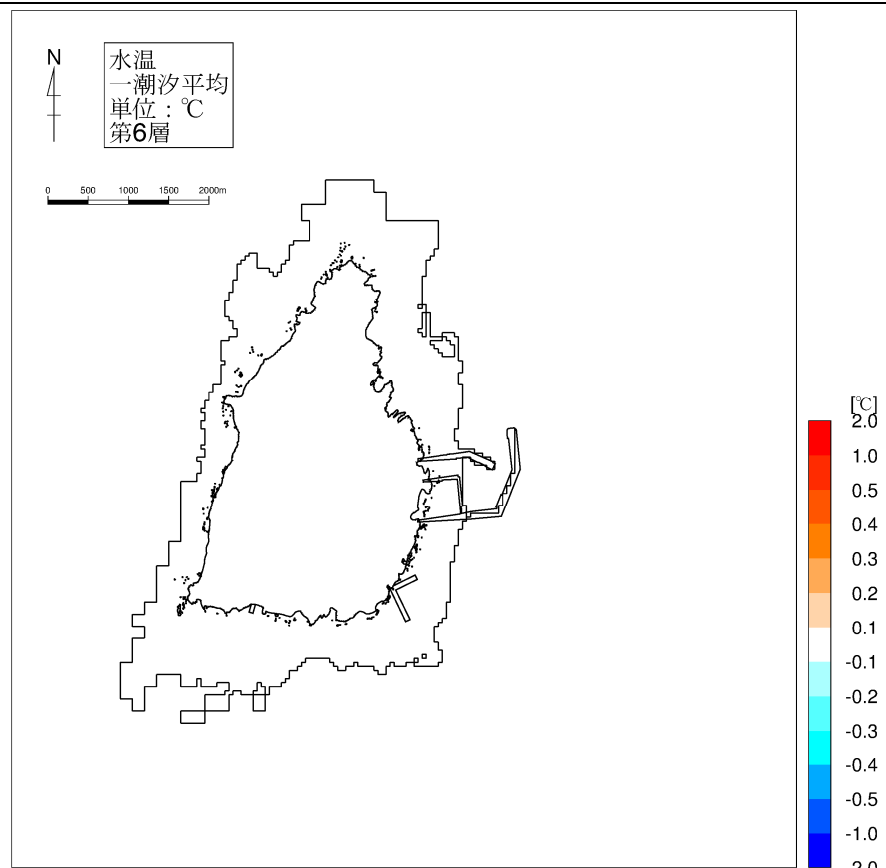
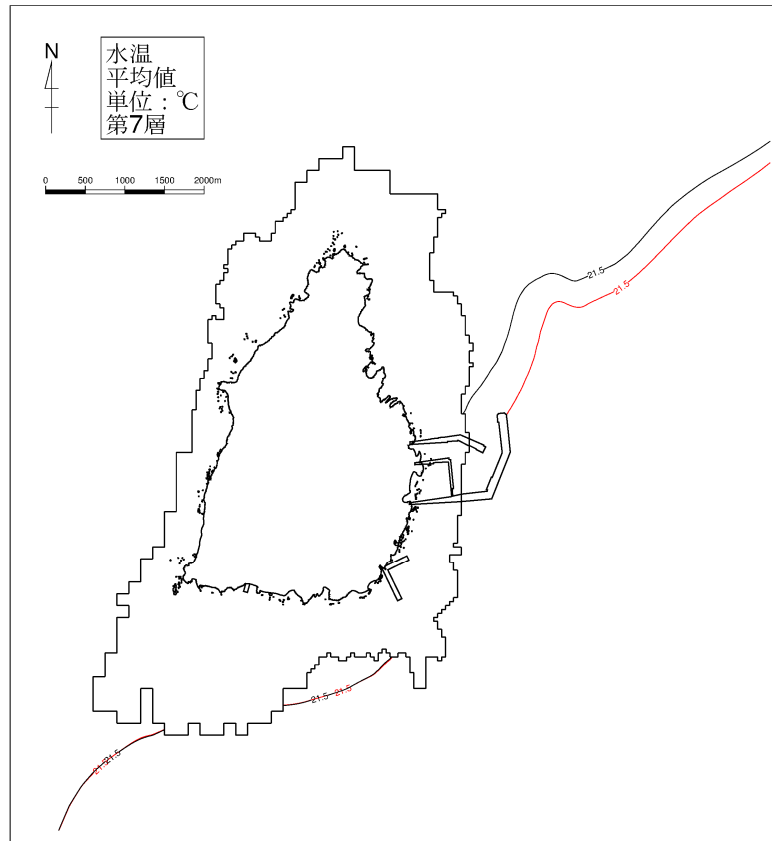


図-6. 9. 102(6) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第6層 (15.0~20.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

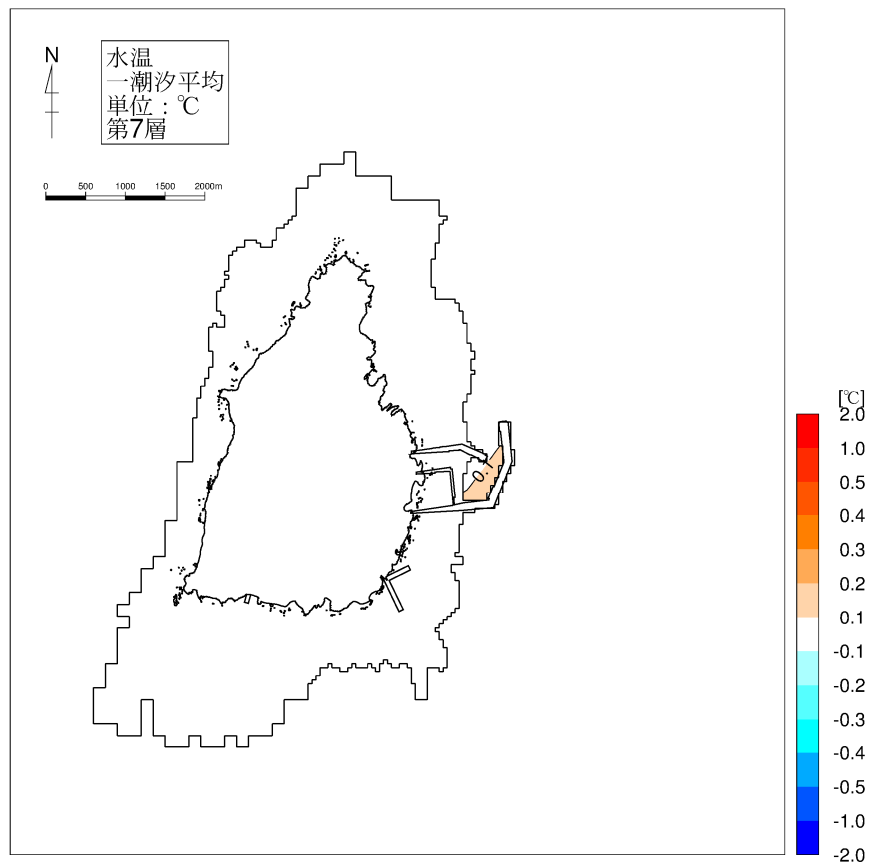
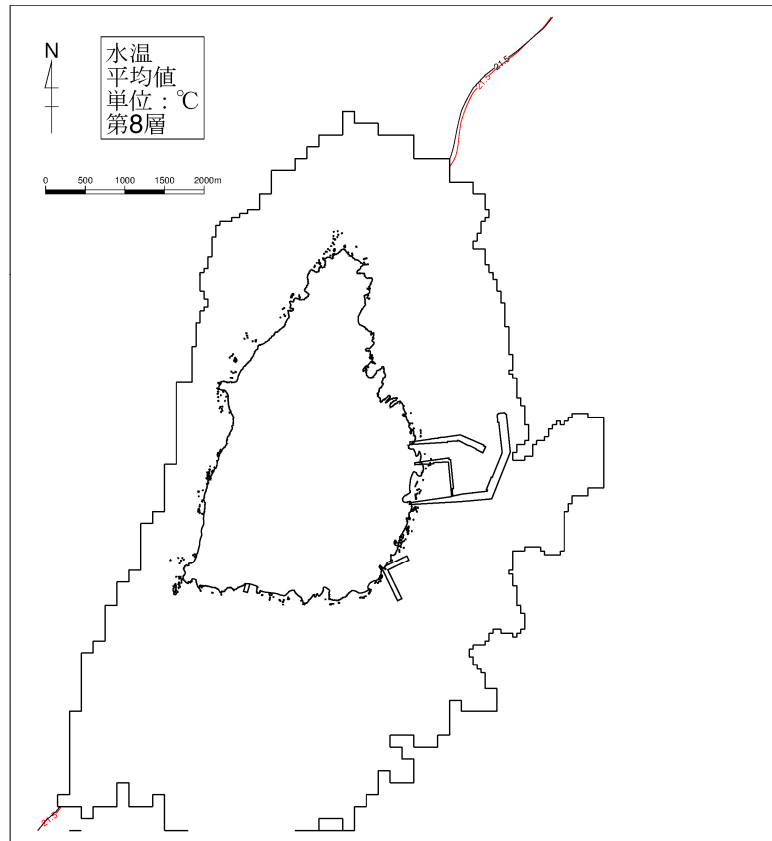


図-6. 9. 102(7) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第7層 (20.0~30.0m))

水温分布

— : 現況
— : 将来



水温変化
(存在時—現況)

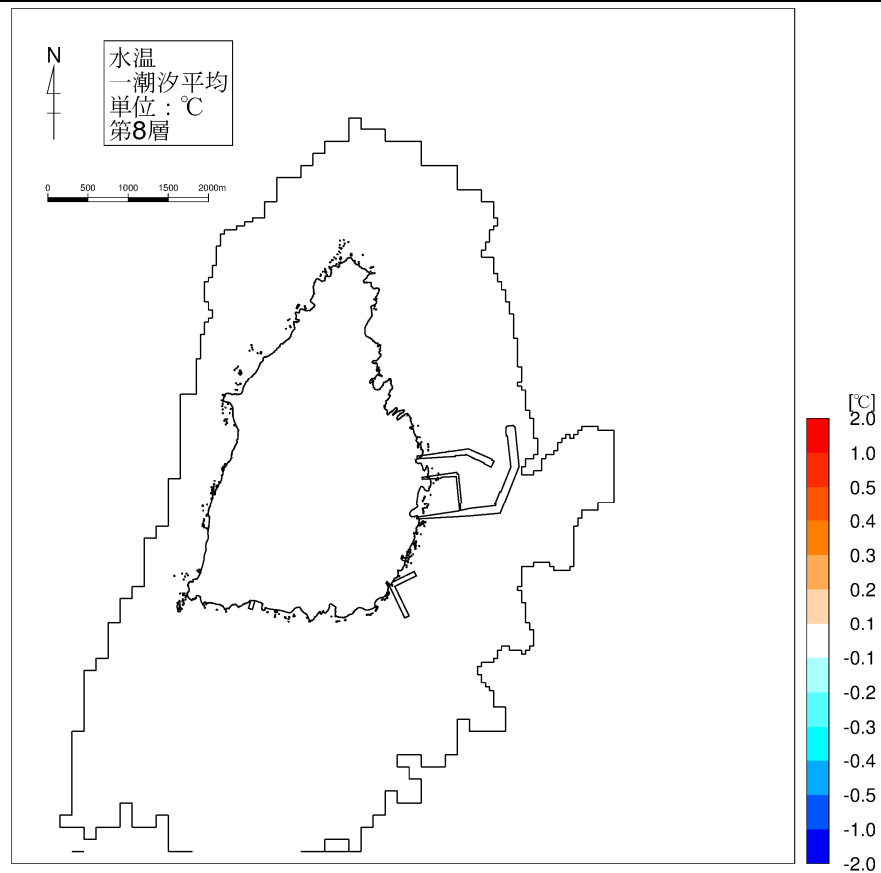
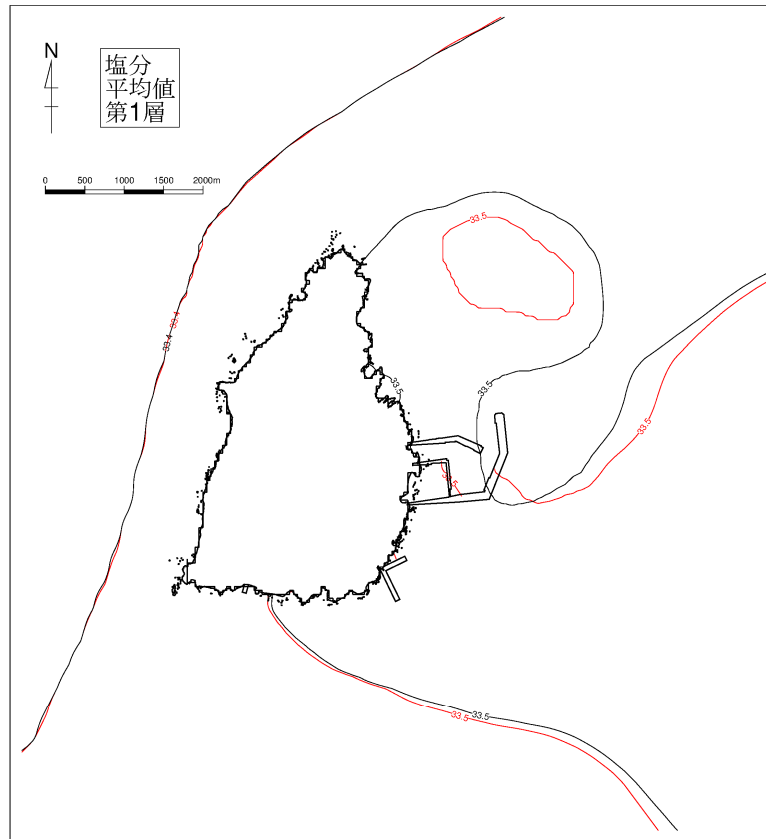


図-6. 9. 102(8) 水温比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第8層 (30.0~50.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

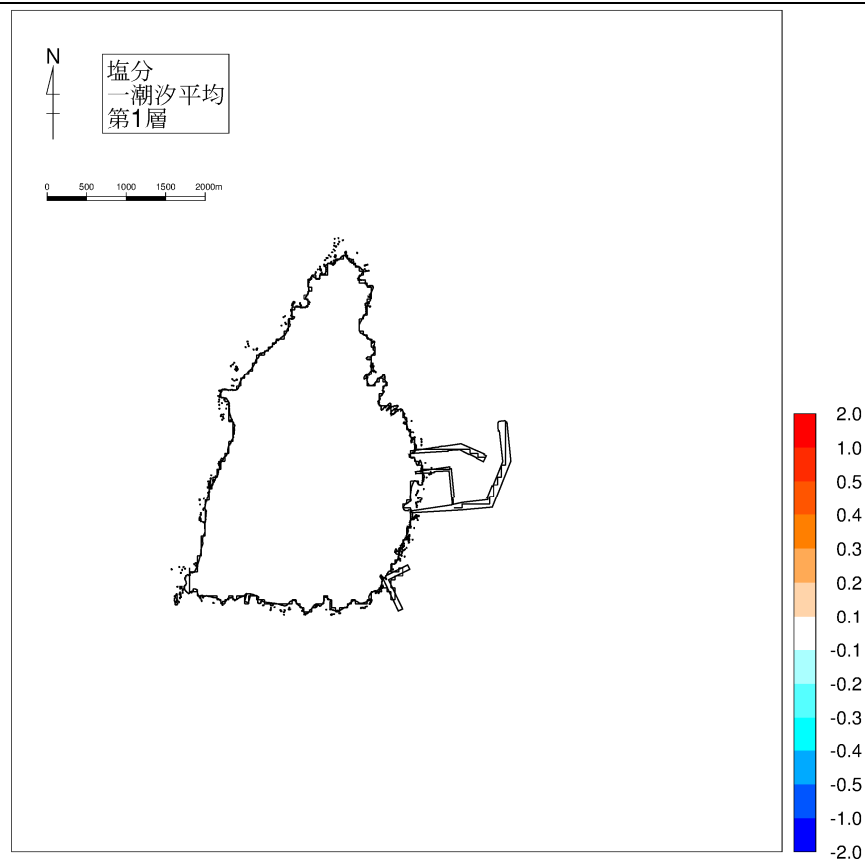
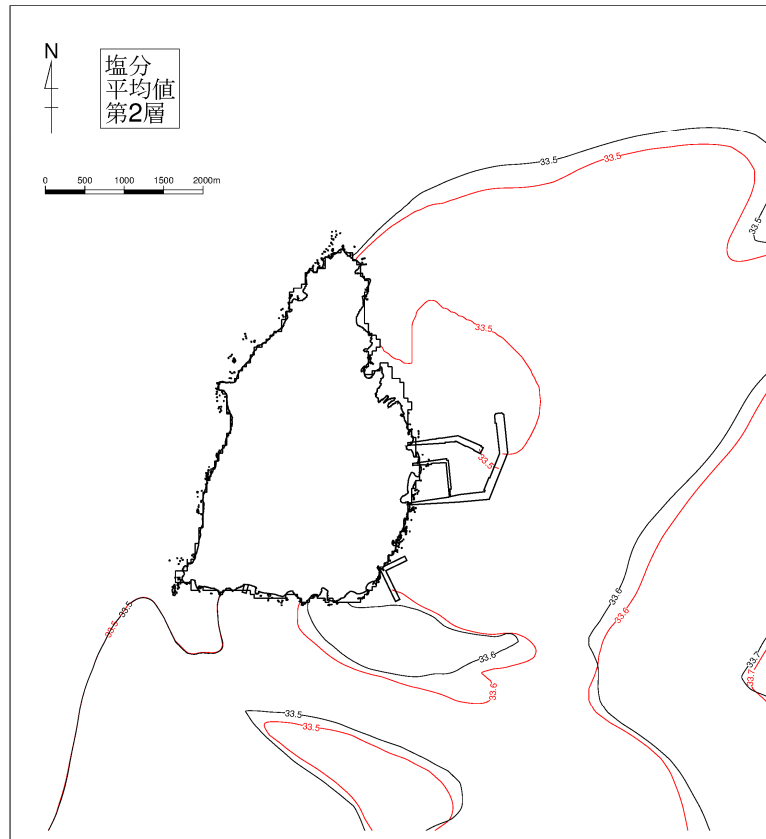


図-6.9.103(1) 塩分比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第1層(0~2.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

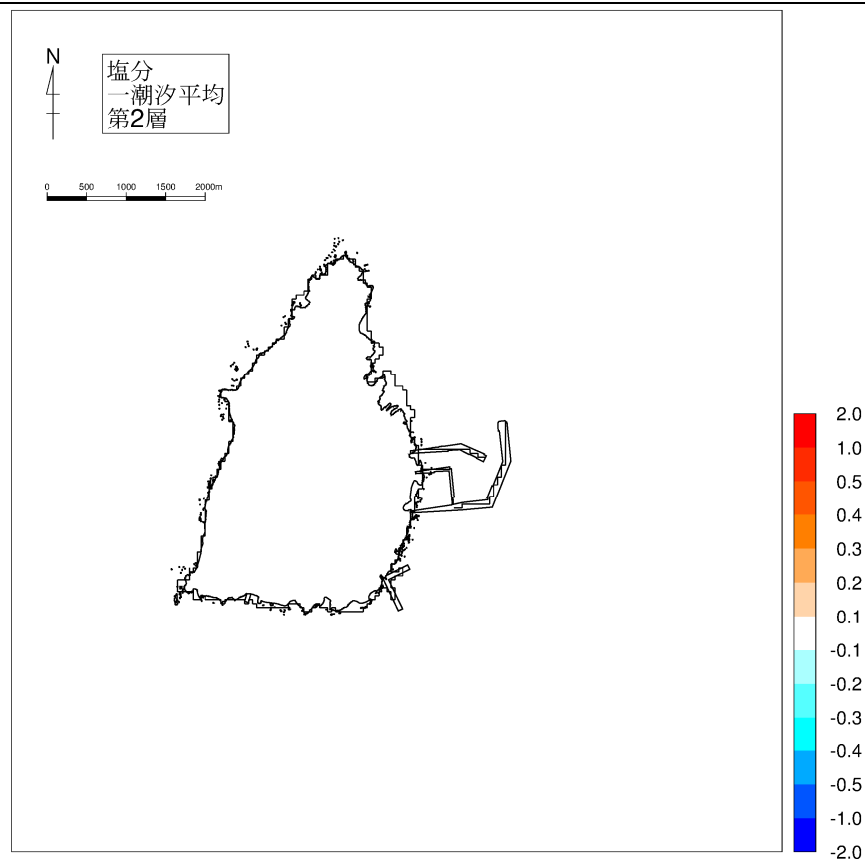
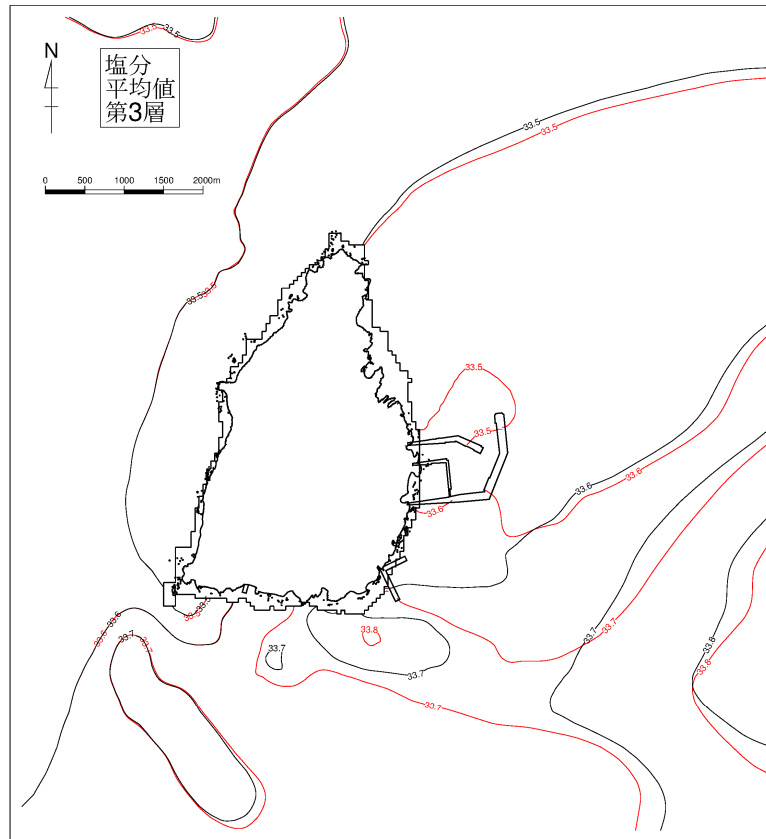


図-6.9.103(2) 塩分比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第2層(2.0~4.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

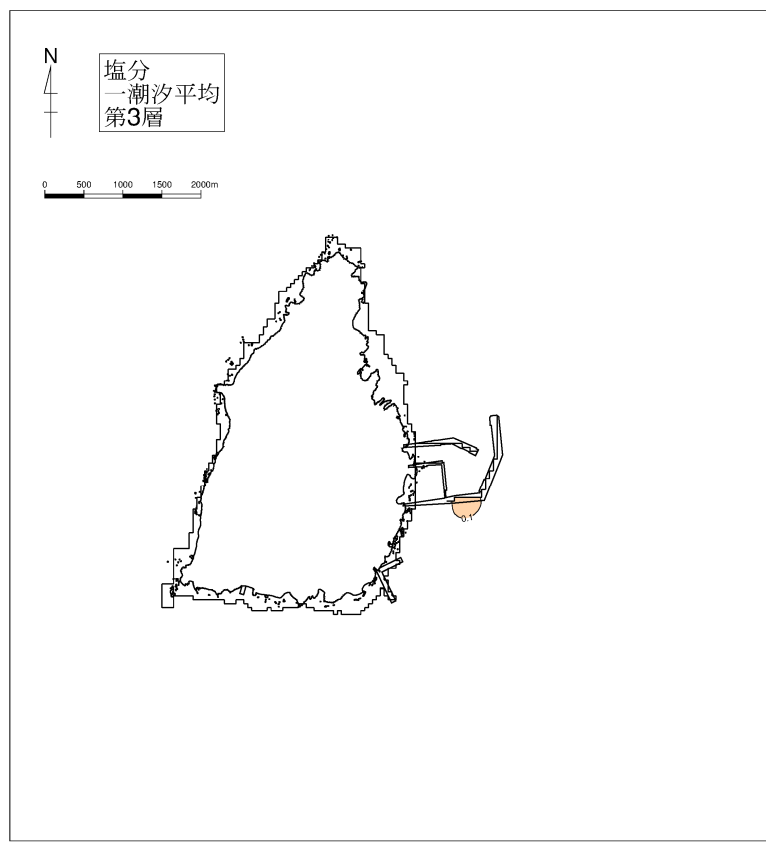
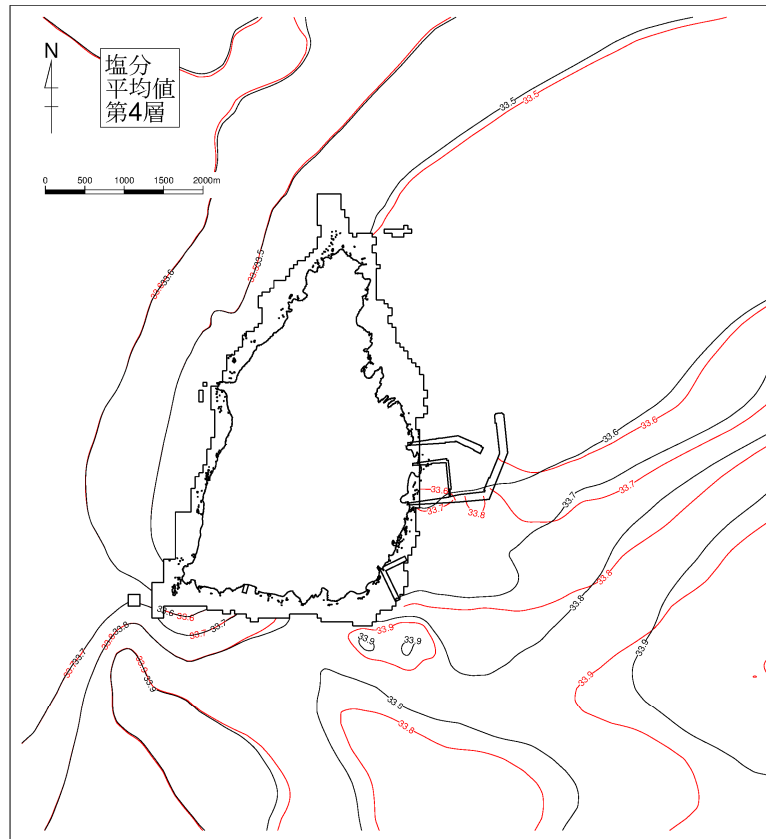


図-6.9.103(3) 塩分比較図(現況と施設等の存在時の比較)(夏季:第3層(4.0~7.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

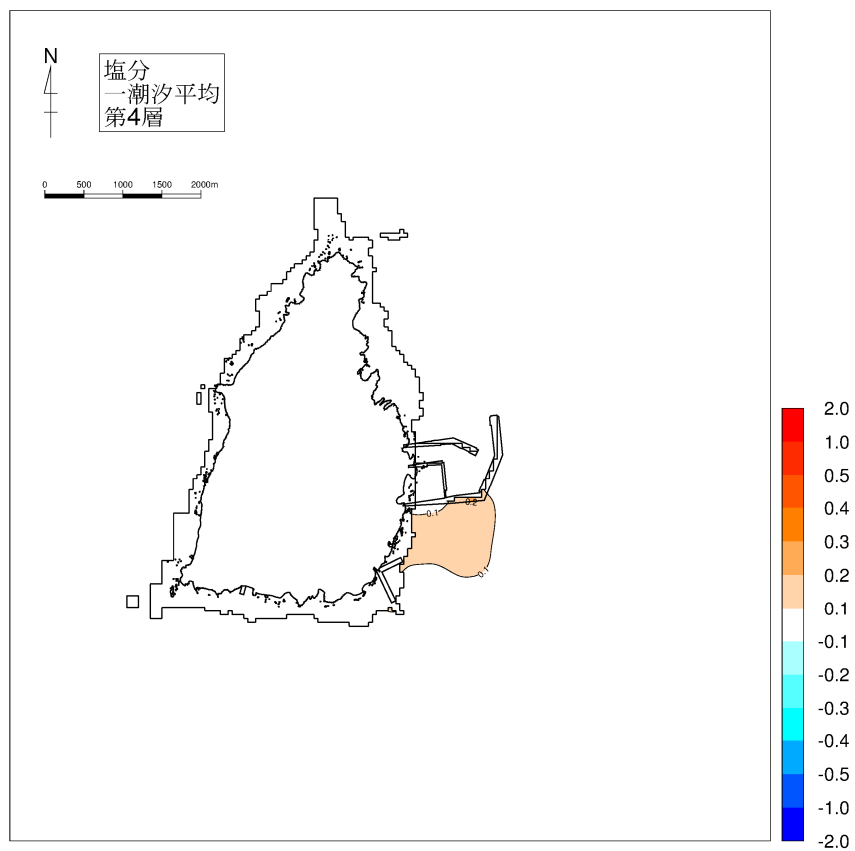
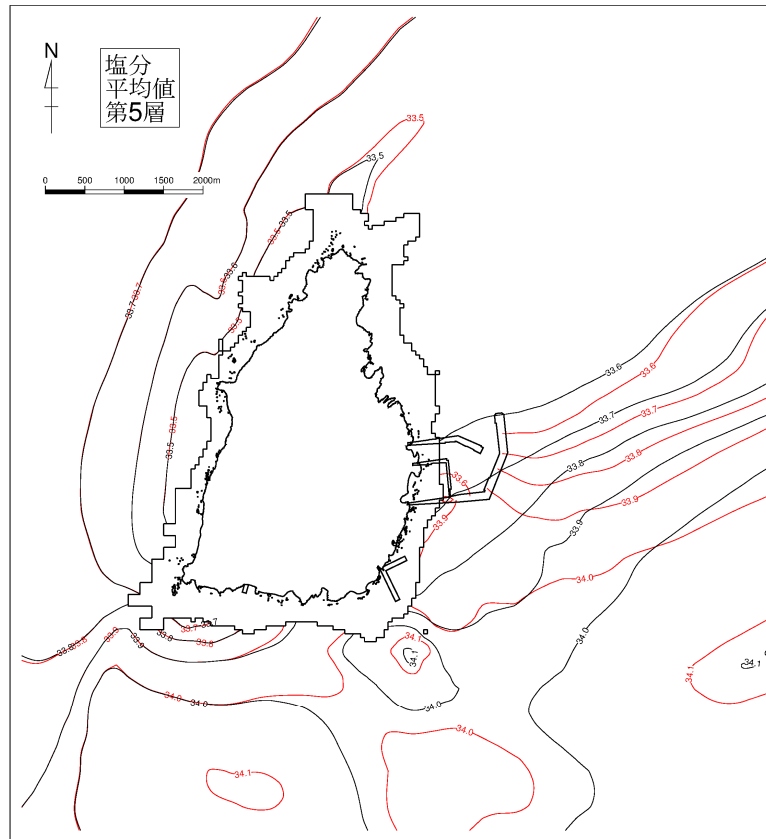


図-6.9.103(4) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第4層 (7.0~10.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

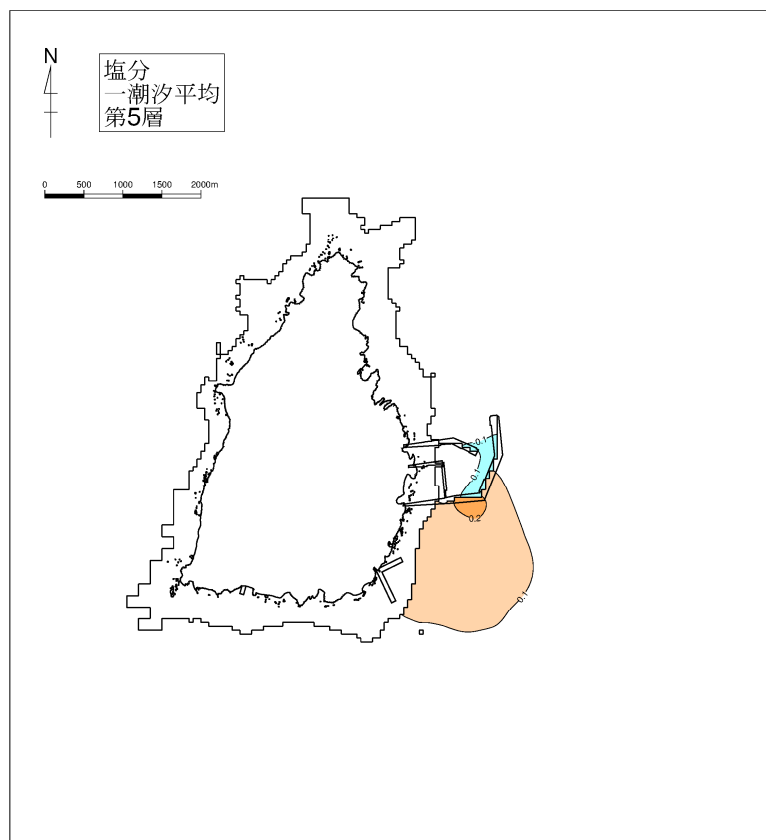
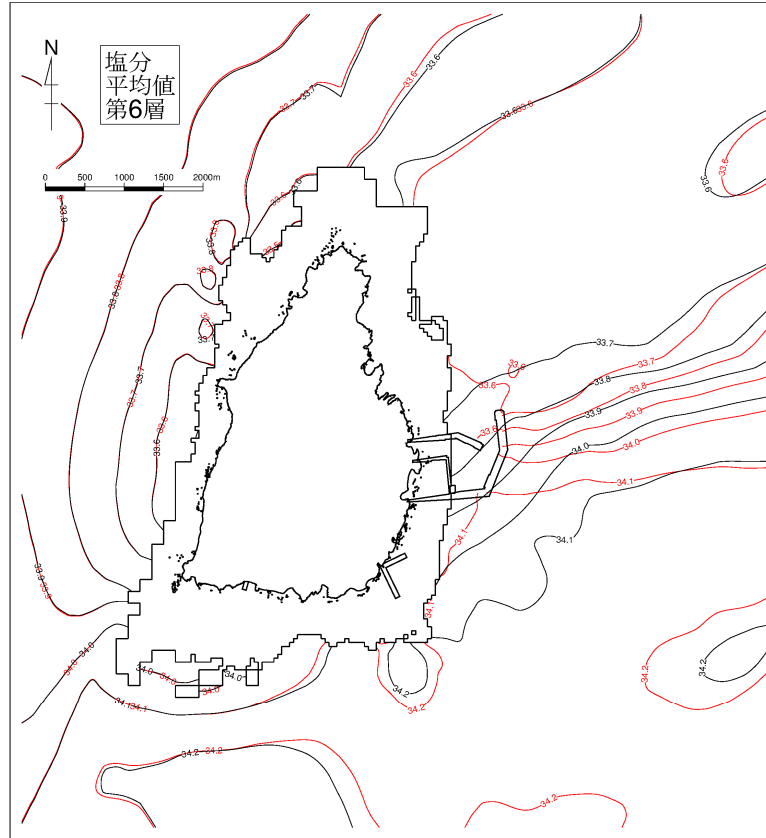


図-6.9.103(5) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季: 第5層 (10.0~15.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

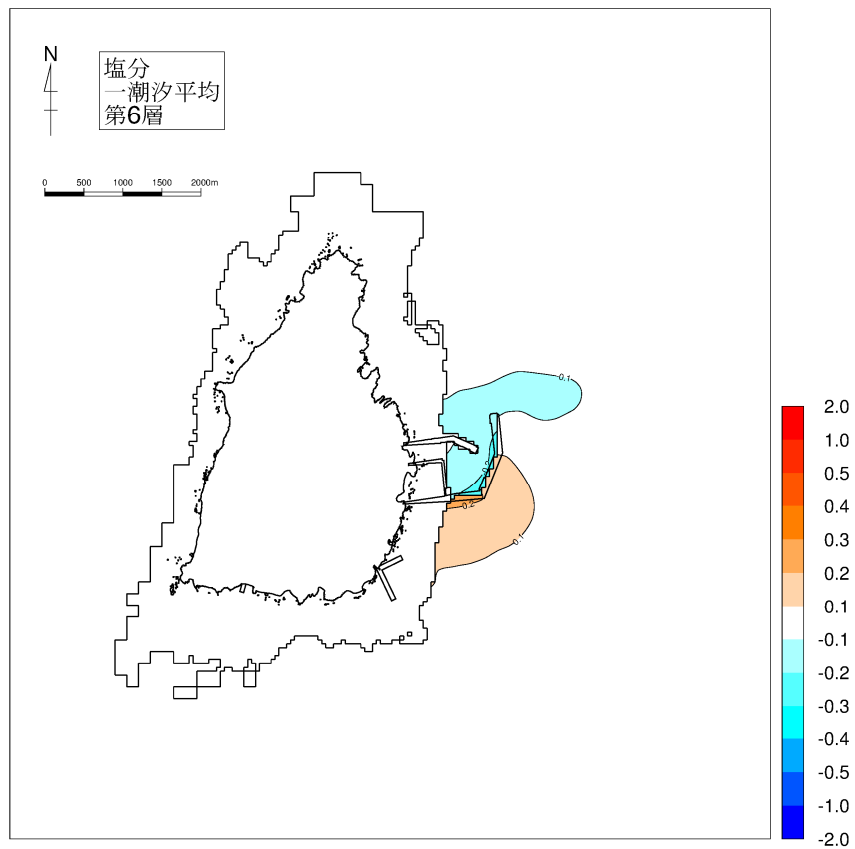
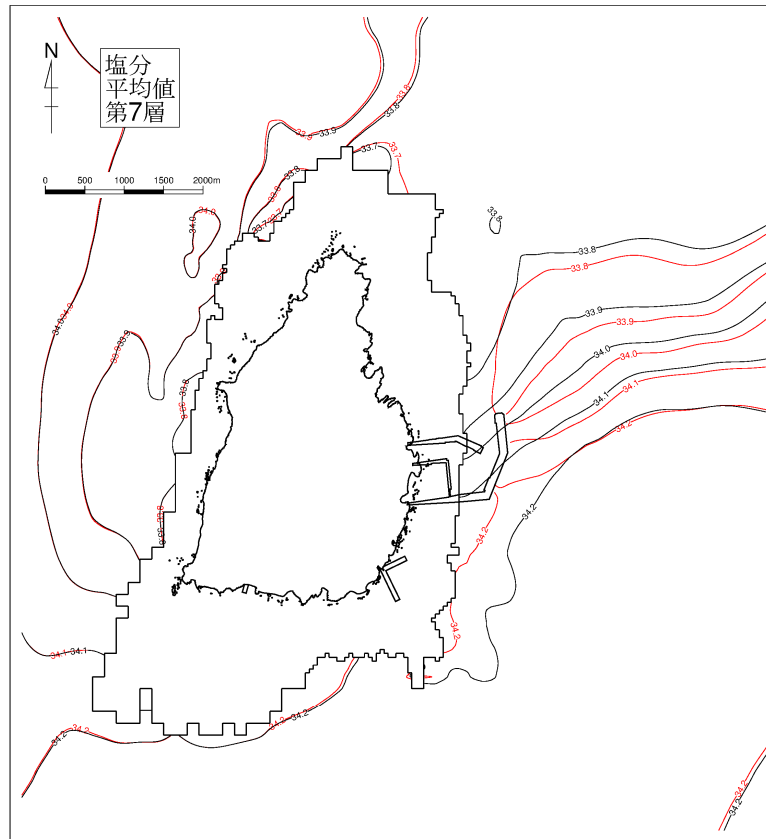


図-6. 9. 103(6) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季：第6層 (15.0~20.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

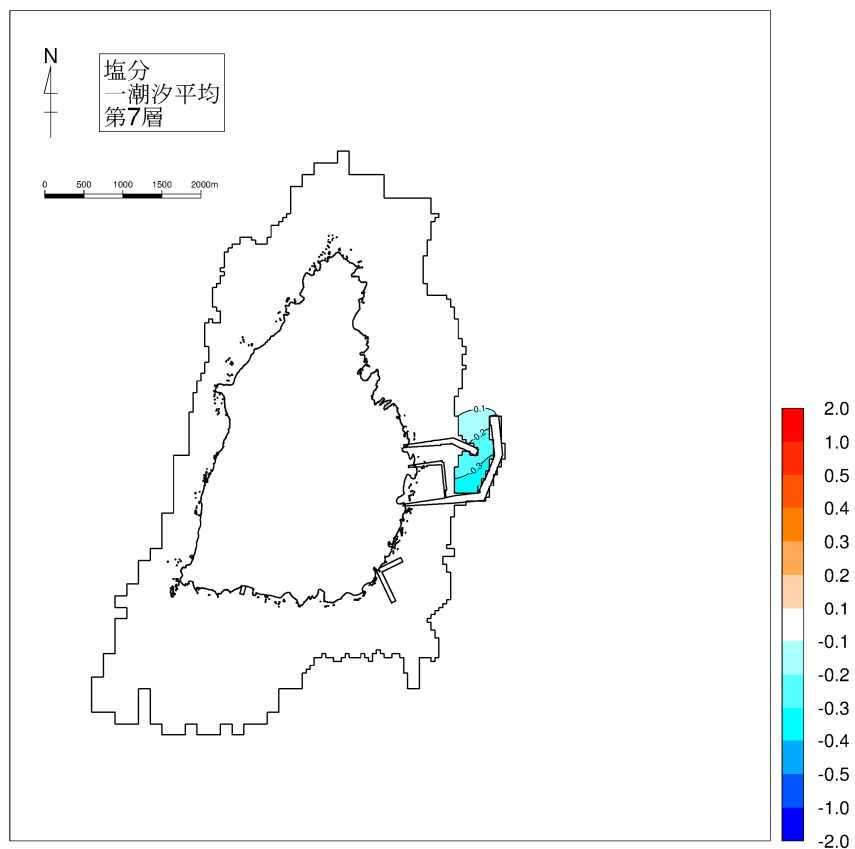
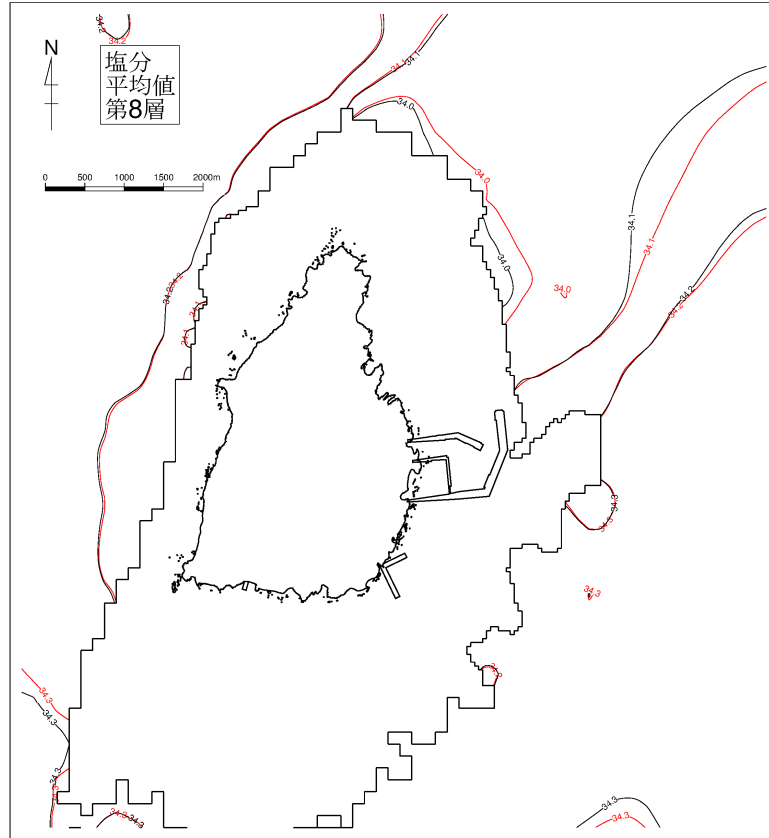


図-6. 9. 103(7) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季：第7層 (20.0～30.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

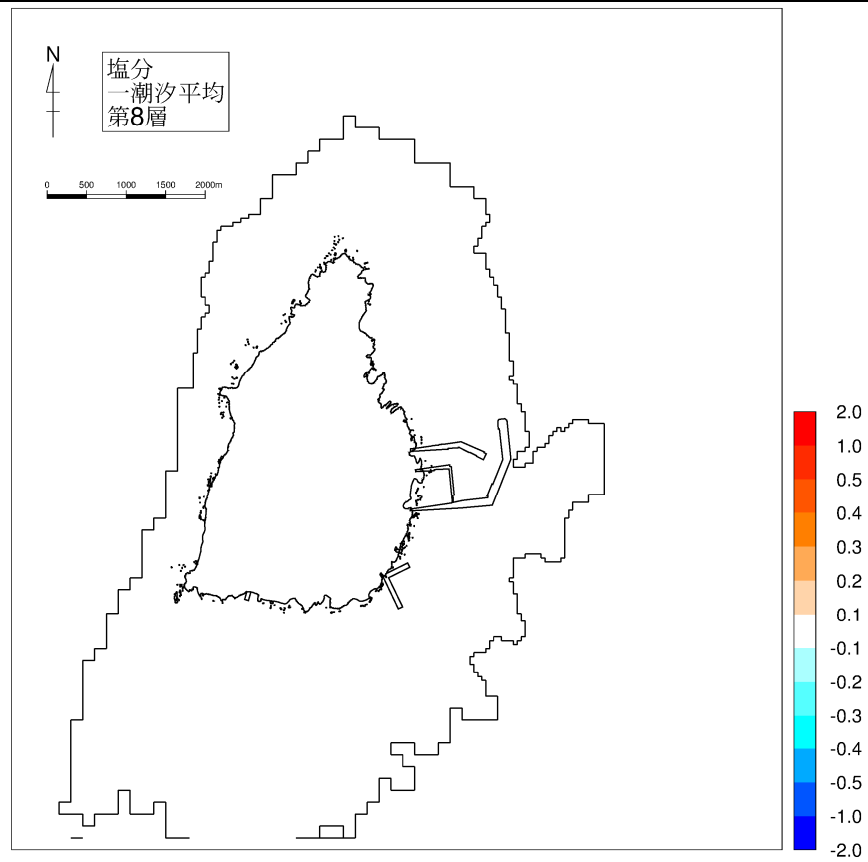
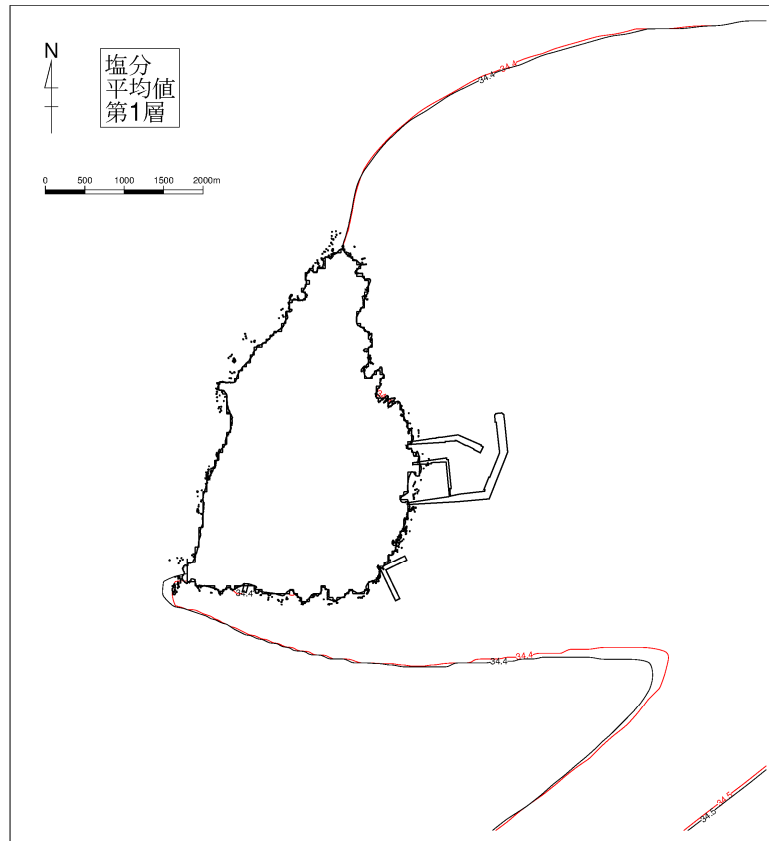


図-6.9.103(8) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (夏季：第8層 (30.0～50.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化
(存在時—現況)

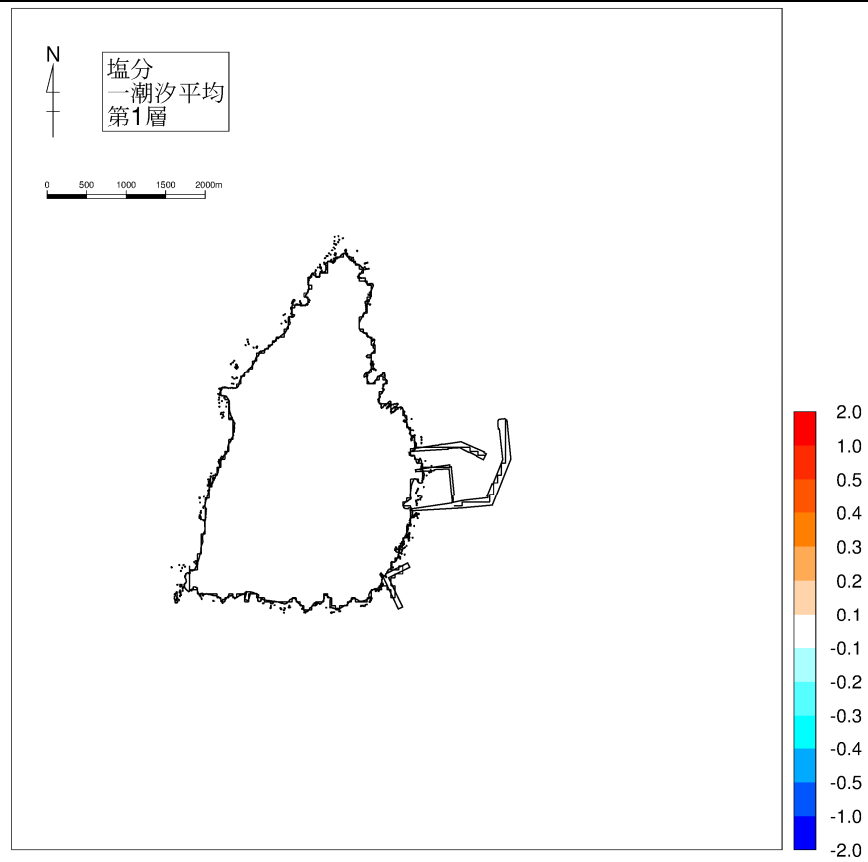
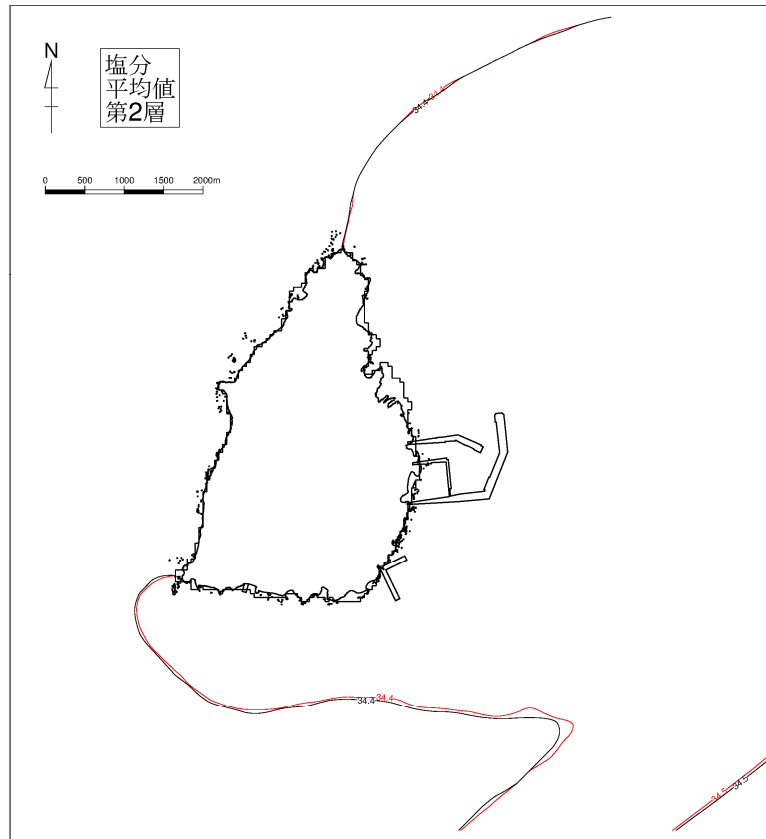


図-6.9.104(1) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季: 第1層 (0~2.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

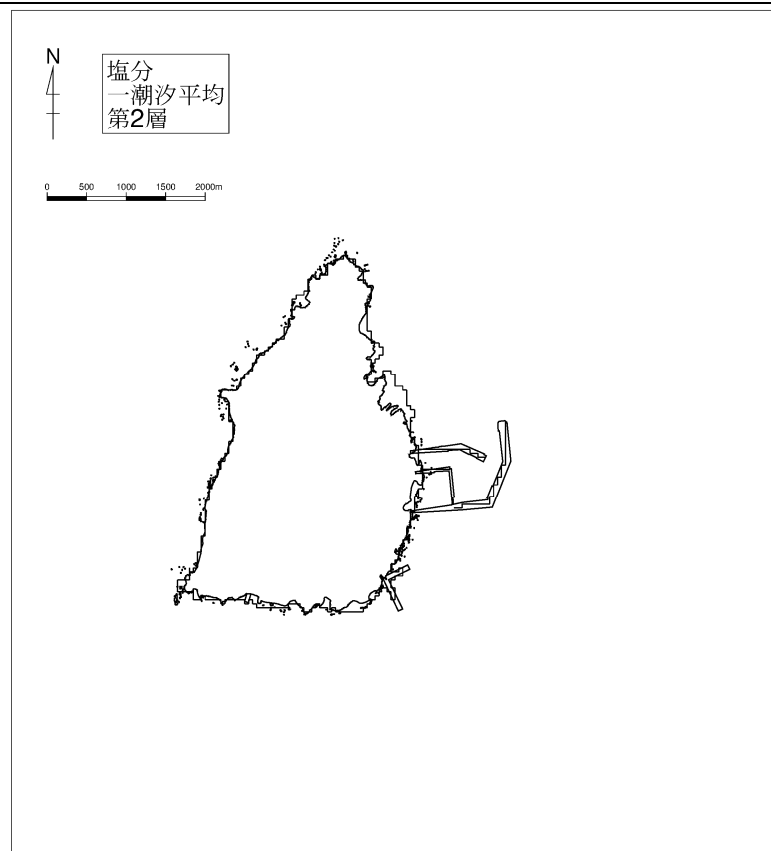
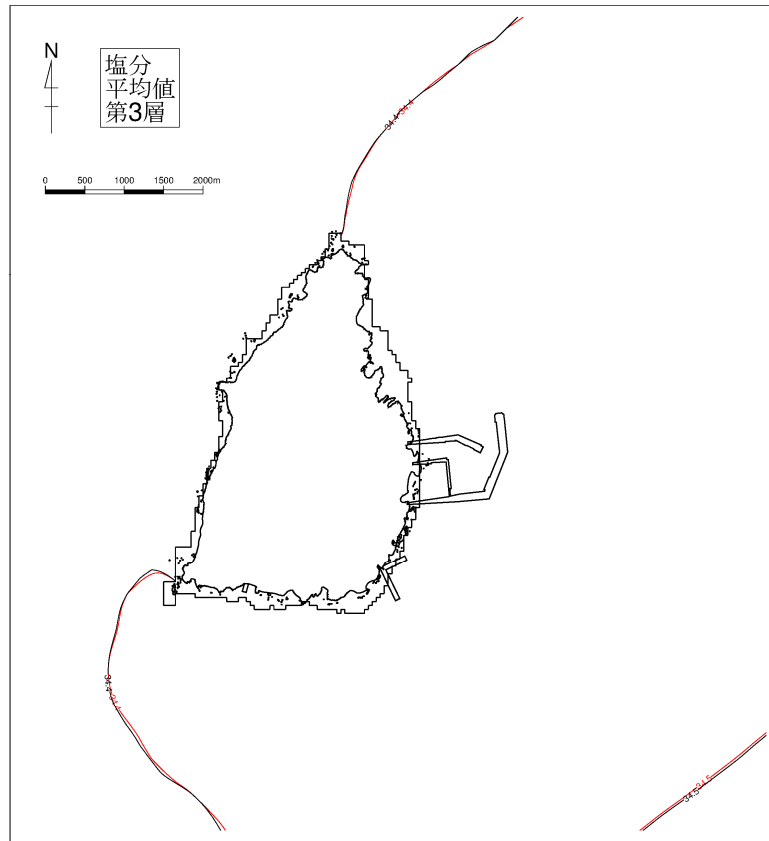


図-6. 9. 104(2) 塩分比較図(現況と施設等の存在時の比較)(冬季:第2層(2.0~4.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化
(存在時—現況)

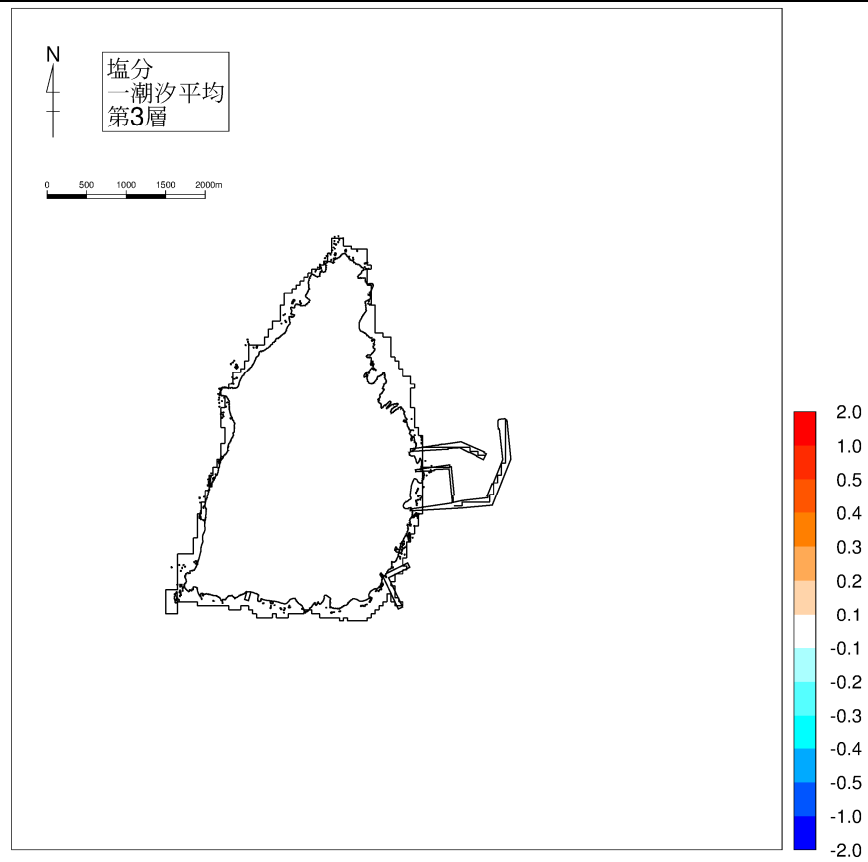
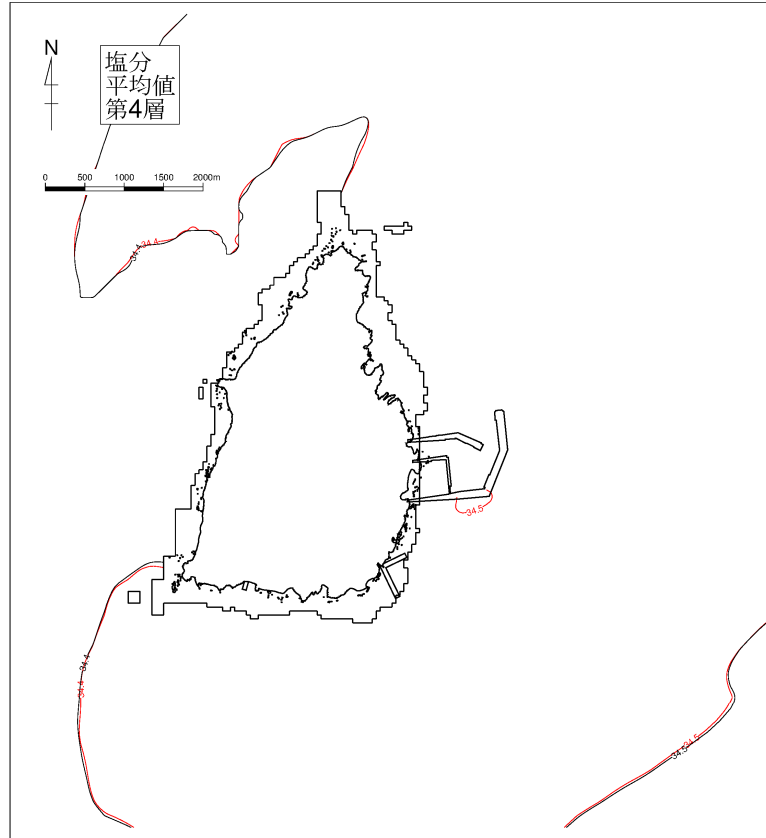


図-6.9.104(3) 塩分比較図(現況と施設等の存在時の比較)(冬季:第3層(4.0~7.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化
(存在時—現況)

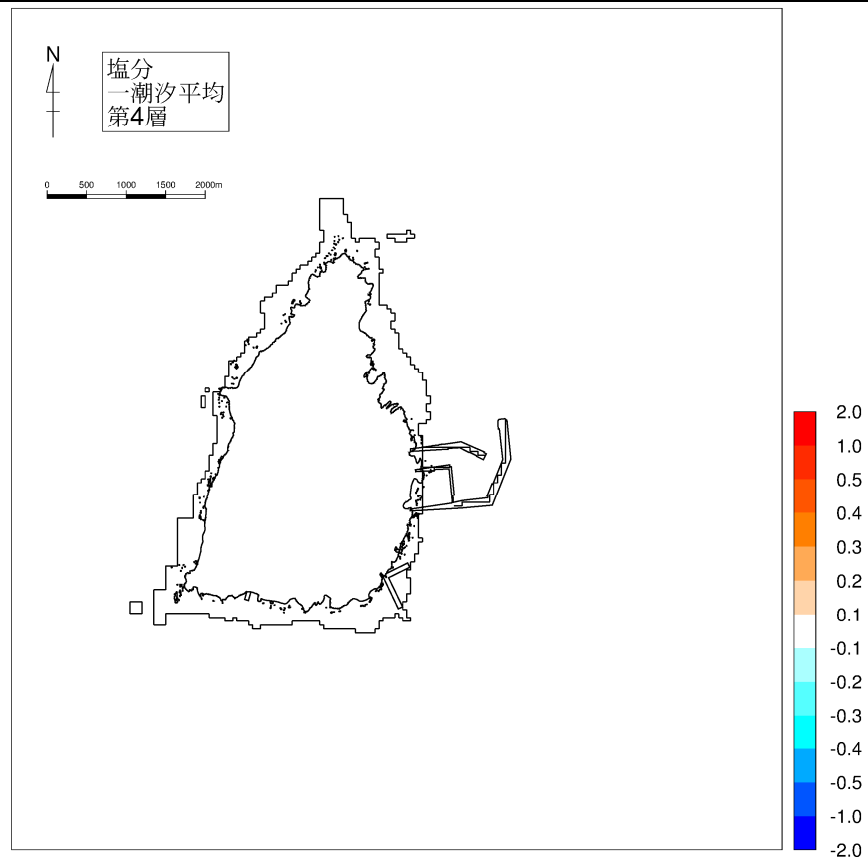
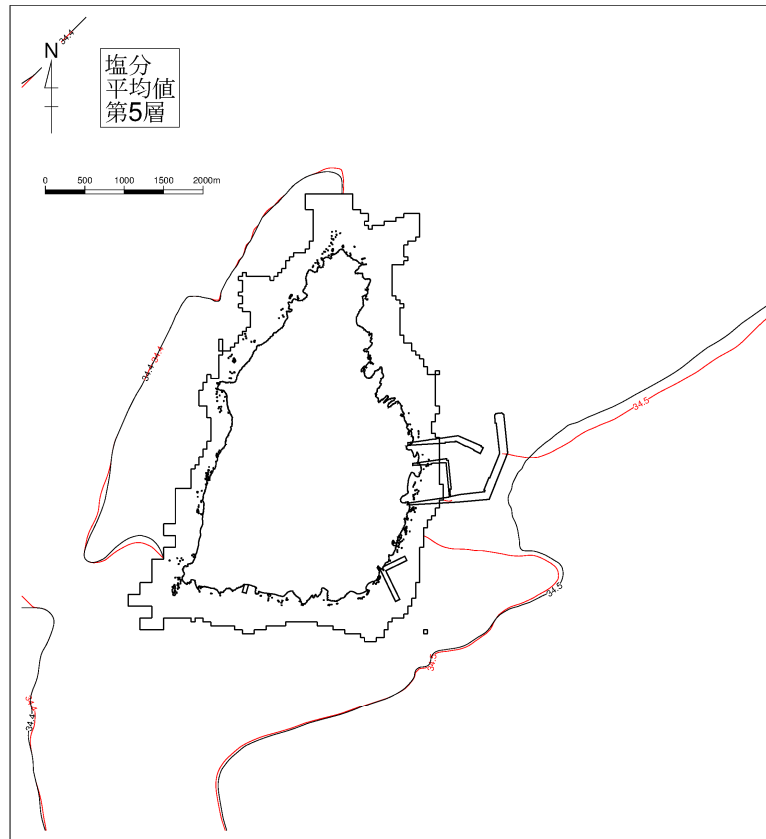


図-6.9.104(4) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季：第4層 (7.0～10.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

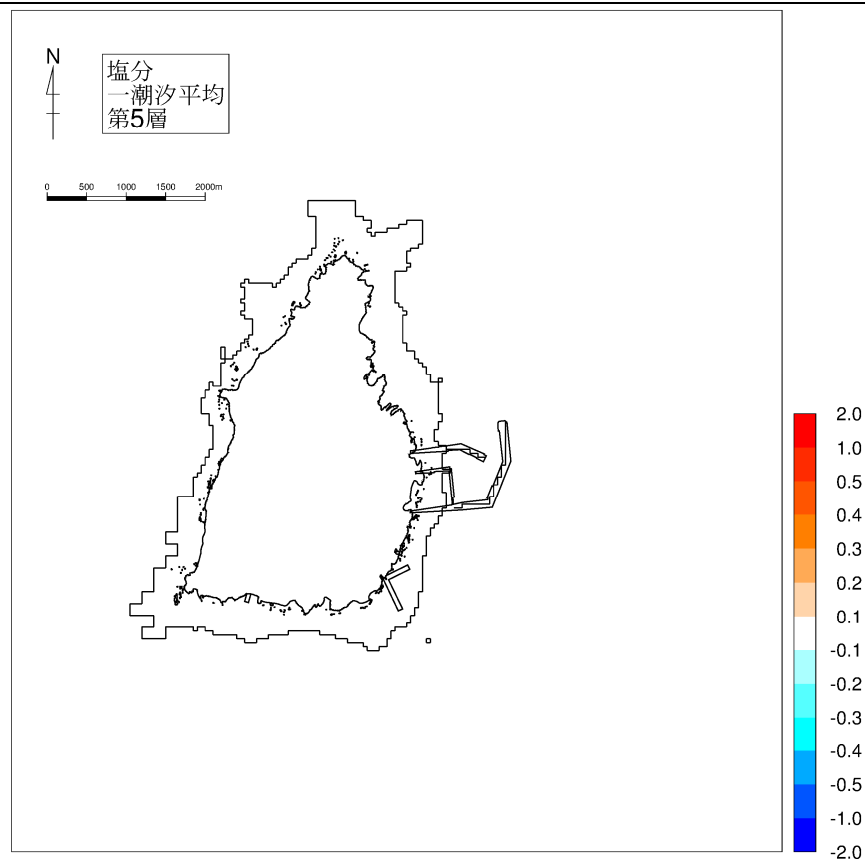
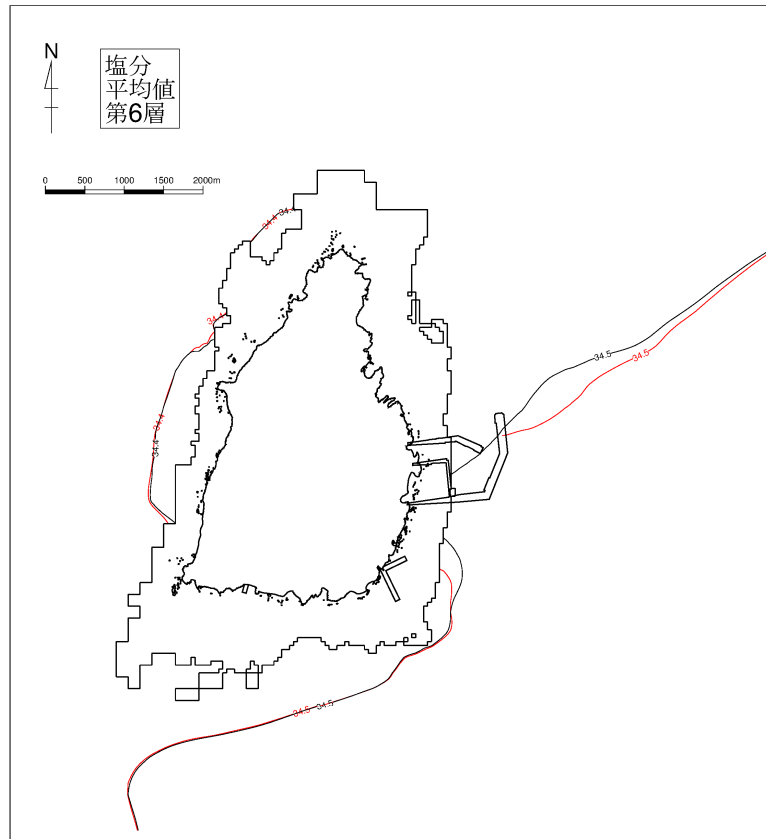


図-6. 9. 104(5) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季 : 第 5 層 (10. 0 ~ 15. 0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

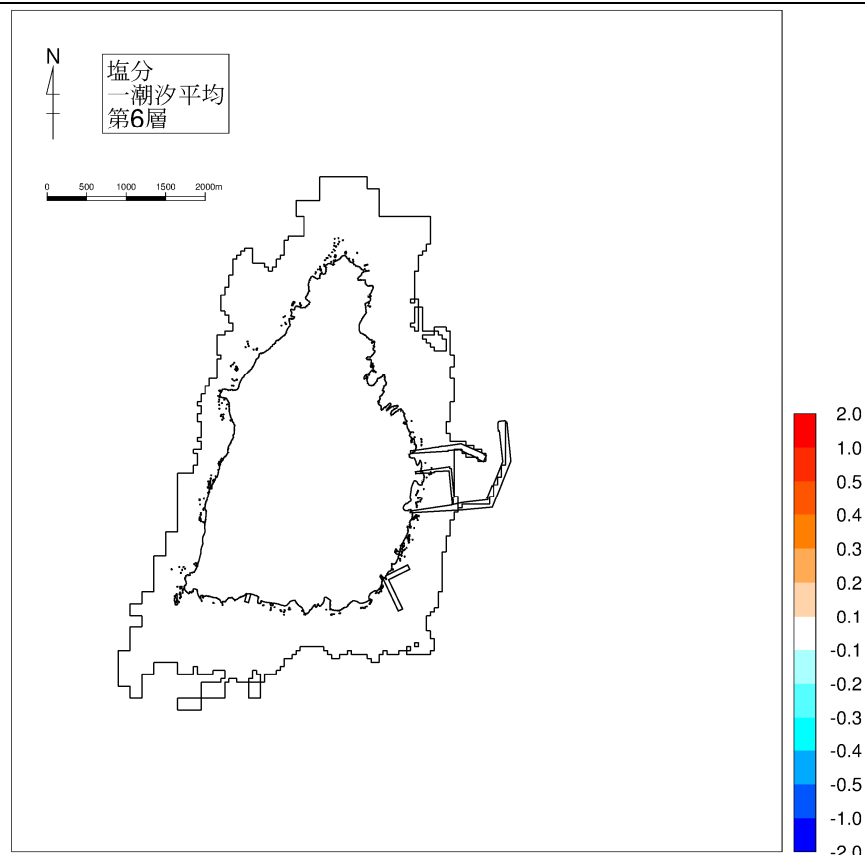
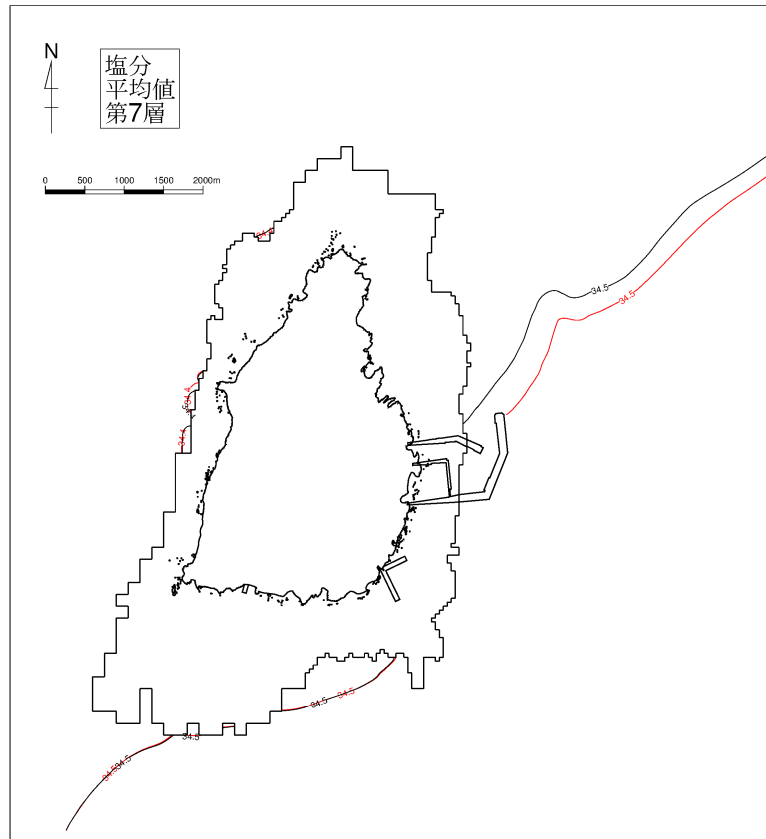


図-6. 9. 104(6) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季：第6層 (15.0～20.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化

(存在時—現況)

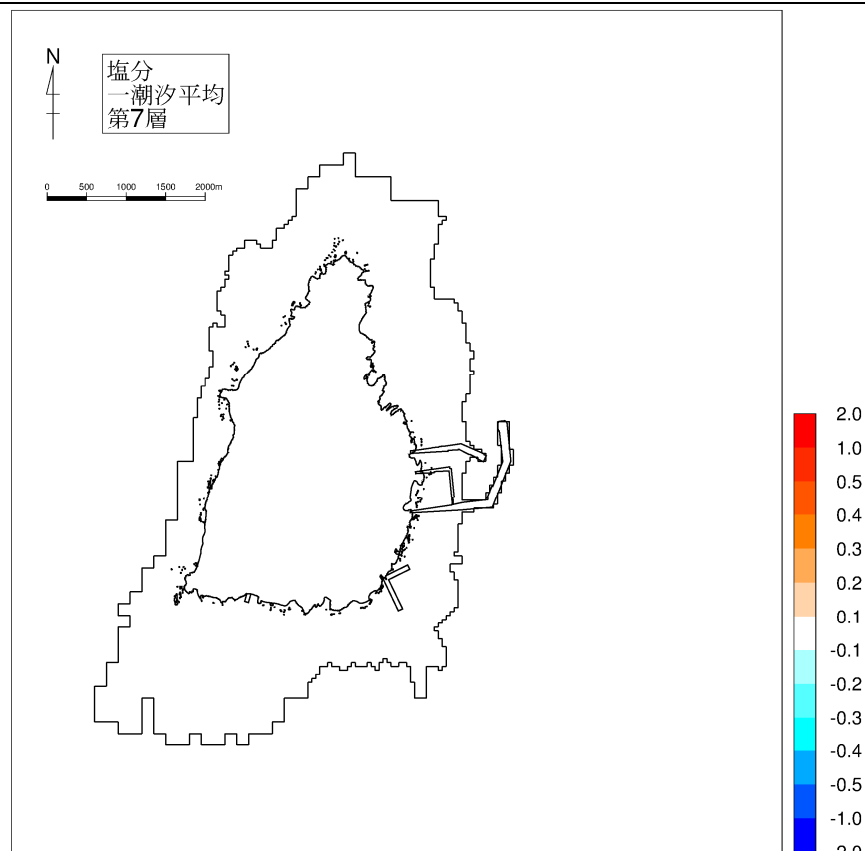
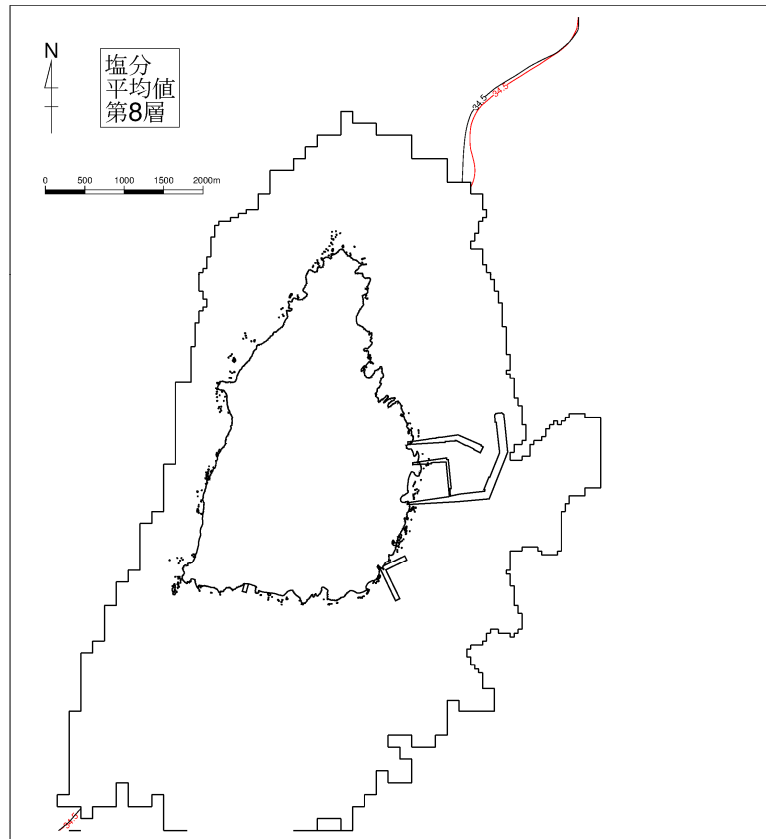


図-6. 9. 104(7) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季：第7層 (20.0～30.0m))

塩分分布

— : 現況
— : 将来



塩分変化
(存在時—現況)

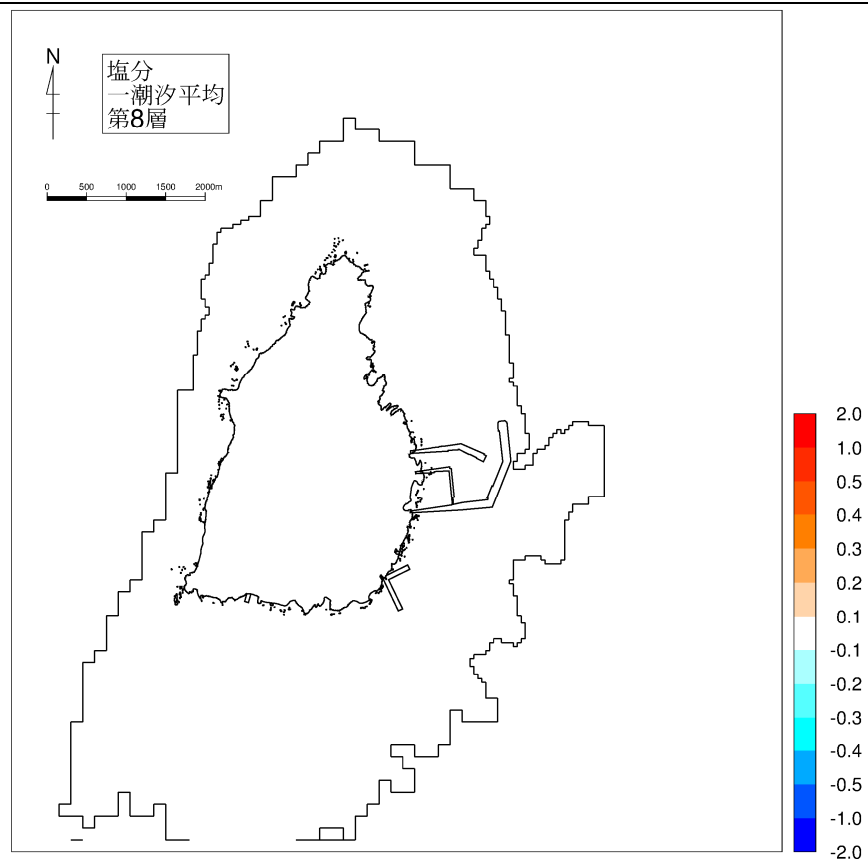


図-6. 9. 104(8) 塩分比較図 (現況と施設等の存在時の比較) (冬季：第8層 (30.0~50.0m))

(c) 波浪の変化

a) 通常時

沖から伝播する波浪は高潮位の条件ほど波高の減衰が小さくなります。よって、波浪の変化も高潮位の条件ほど大きくなります。

朔望平均満潮位（HWL）の潮位条件で計算した現況と施設等の存在時の波高分布を図-6.9.105～図-6.9.112に示しました。また、現況と施設等の存在時の波高の差分図を図-6.9.113～図-6.9.116に示します。

夏季は東南東から波浪が伝搬するため、消波堤防及び南防波堤から北側で主に波高が減少しています。冬季は西北西から波浪が伝搬し、島の北側から対象事業実施区域周辺に波浪が伝搬するため、北接続施設及び北防波堤より南側で主に波高が減少しています。夏季と冬季で波の遮蔽域が変化しますが、港湾施設より外側の波高の変化は最大0.3m程度の減少となっています。

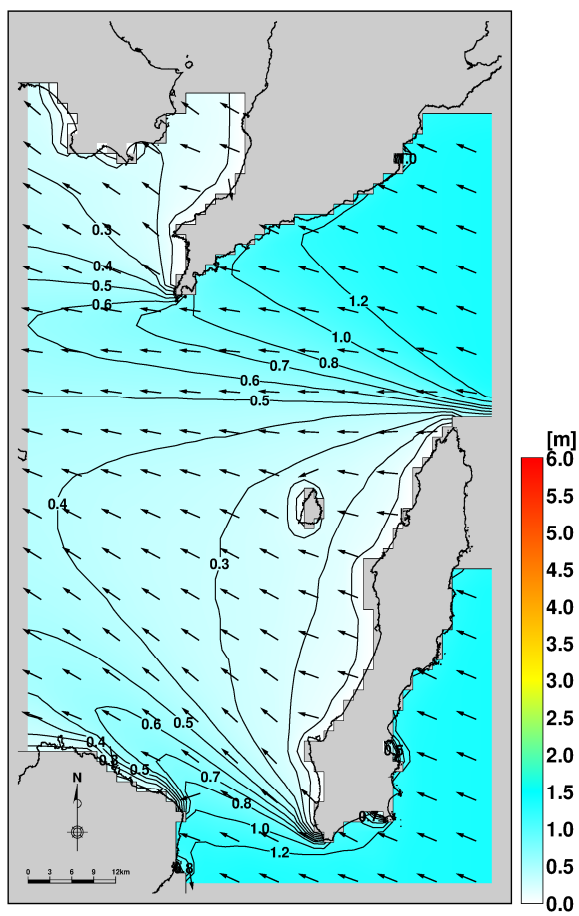


图-6.9.105 波高分布（波浪条件：夏季、広域、現況）

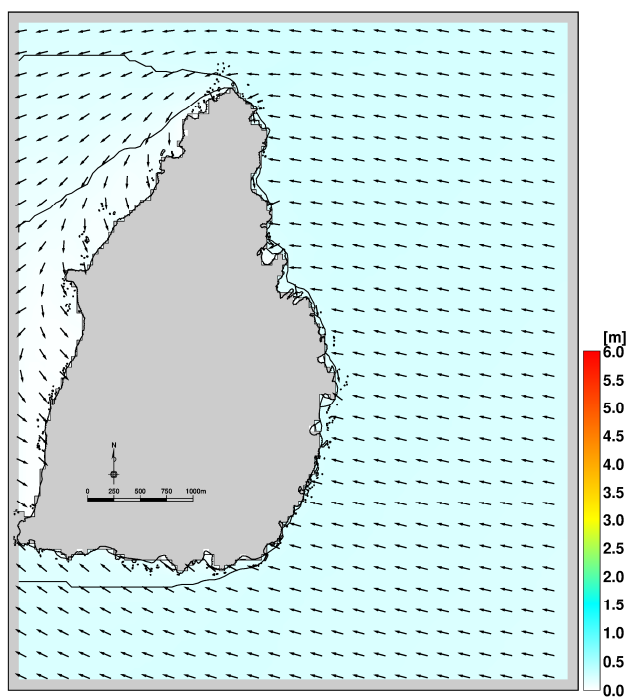


图-6.9.106 波高分布（波浪条件：夏季、対象事業実施区域周辺、現況）

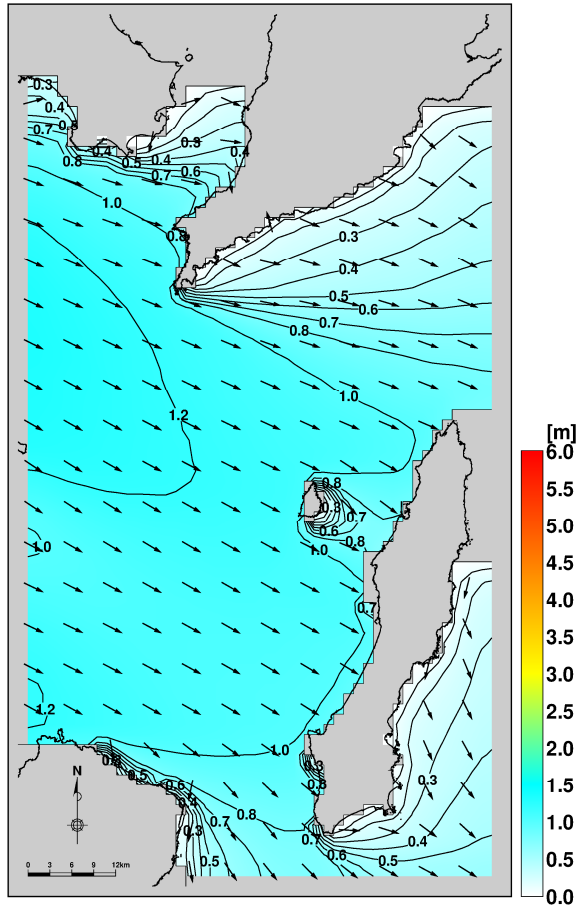


图-6.9.107 波高分布（波浪条件：冬季、広域、現況）

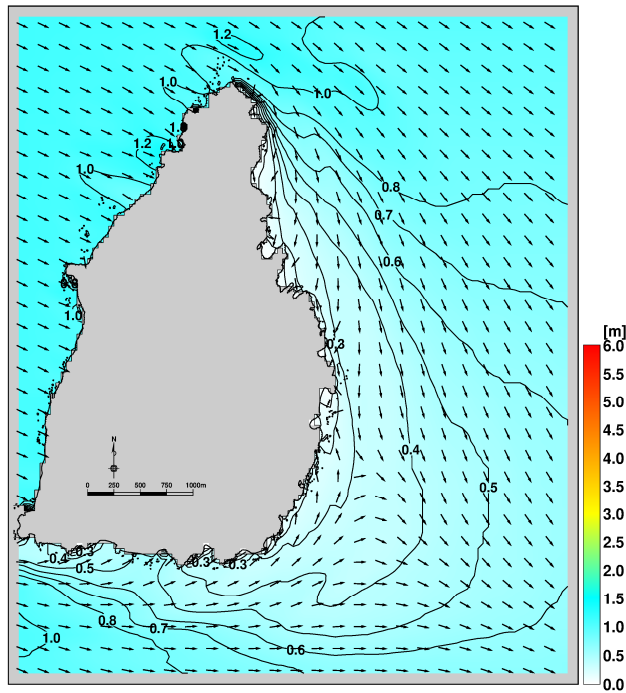


图-6.9.108 波高分布（波浪条件：冬季、対象事業実施区域周辺、現況）

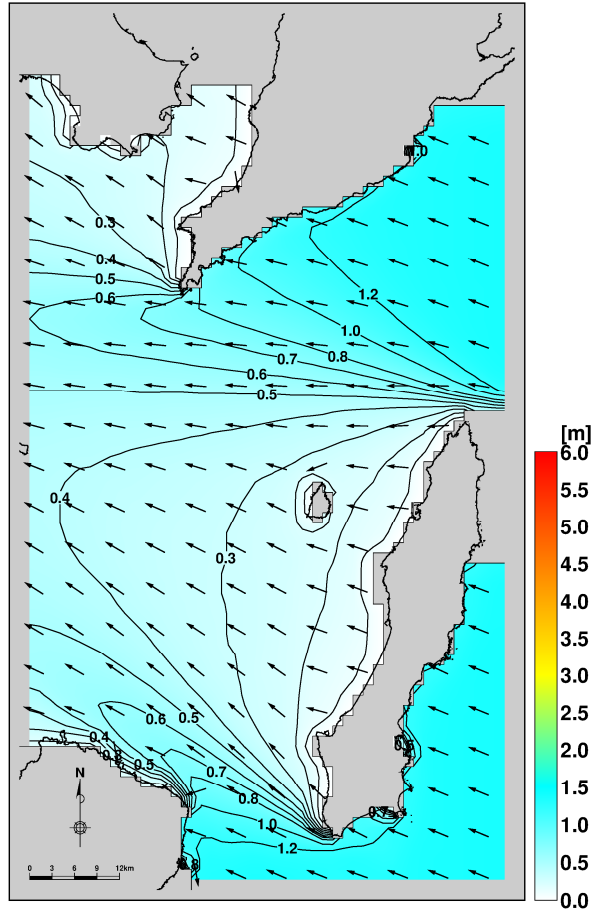


図-6. 9. 109 波高分布（波浪条件：夏季、広域、施設等の存在時）

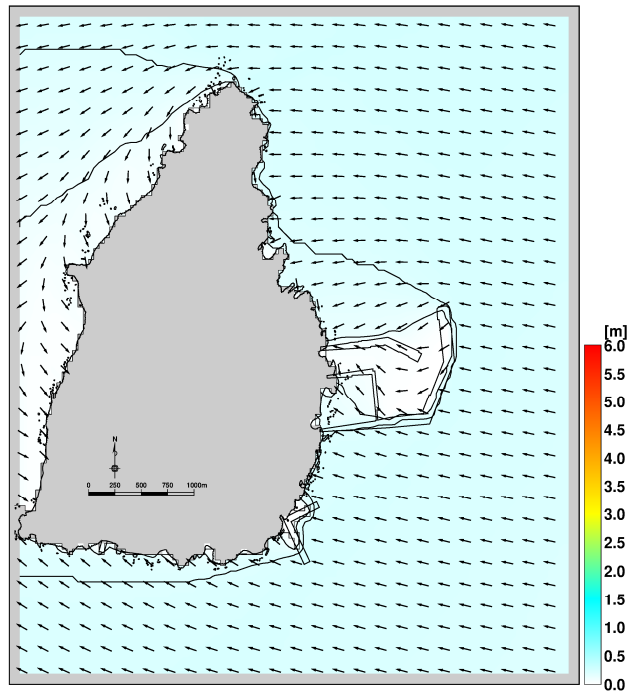


図-6. 9. 110 波高分布（波浪条件：夏季、対象事業実施区域周辺、施設等の存在時）